

土地・家屋の管理と生活についての調査 報告書

■調査名

土地・家屋の管理と生活についての調査

■対象者

609名（※南部町外にお住まいで、南部町に田畑、山林、家屋等を所有する方）

■調査期日

平成26年2月6日～3月30日

■回収数・回収率

回収数248票

有効回収率41%

調査にご協力いただいた皆さまへ

皆さまには日ごろから南部町のまちづくりにご支援、ご協力を賜り心からお礼申し上げます。

平成26年2月に実施しました「土地・家屋の管理と生活についての調査」については、ご多忙中のところ、ご回答いただきありがとうございます。突然のお願いにもかかわらず、ご協力いただきましたこと、あらためて深く感謝申し上げます。

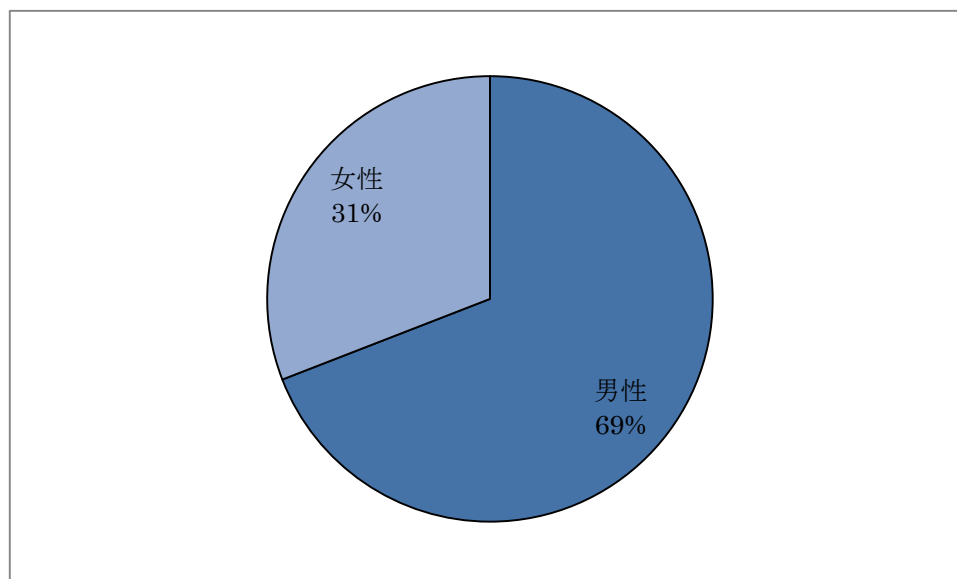
このたび、アンケートの集計結果ができましたので、簡単ではございますが一部をご紹介します。ご回答いただきました多くの質問の中から、項目をピックアップし、その集計結果をグラフの形でまとめました。ご覧いただけましたら幸いです。

今回の調査では、南部町に田、畑、山林、家などを所有される方々にそれらの管理に関することや日常の生活に関する考え方などをお伺いし、農地・山林・家屋の管理に関する施策に役立てる目的で実施しました。その結果多くの方々が、これらの財の管理に対し高いご関心と意欲的な姿勢をお持ちであることが分かりました。皆さまからいただいた貴重なご回答につきましては、今後はより詳細な分析を行い、暮らしやすいまちづくりを進めてまいります。

このたびはアンケート調査へのご協力、誠にありがとうございました。

南部町長 坂本 昭文

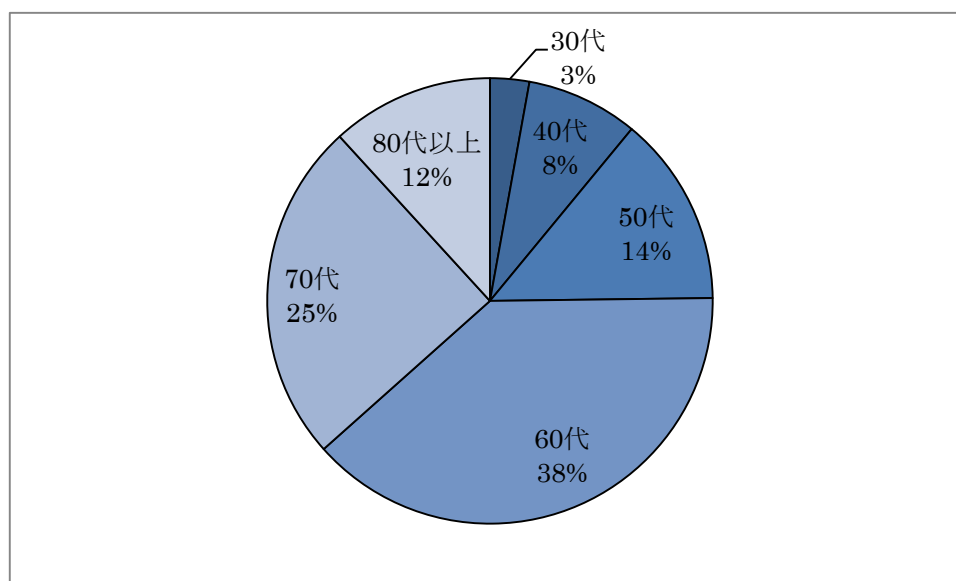
図1 性別



性別		
	度数	パーセント (%)
男性	170	69.1
女性	76	30.9
合計	246	100.0

図1は、アンケート回答者の性別の分布を示したグラフである。回答者のうち69%が「男性」であり、31%が「女性」である。このアンケートでは各世帯で財産管理について詳しい人に調査を依頼している。ここから、各家庭において財産管理は男性が主体となって行っている可能性があるといえる。

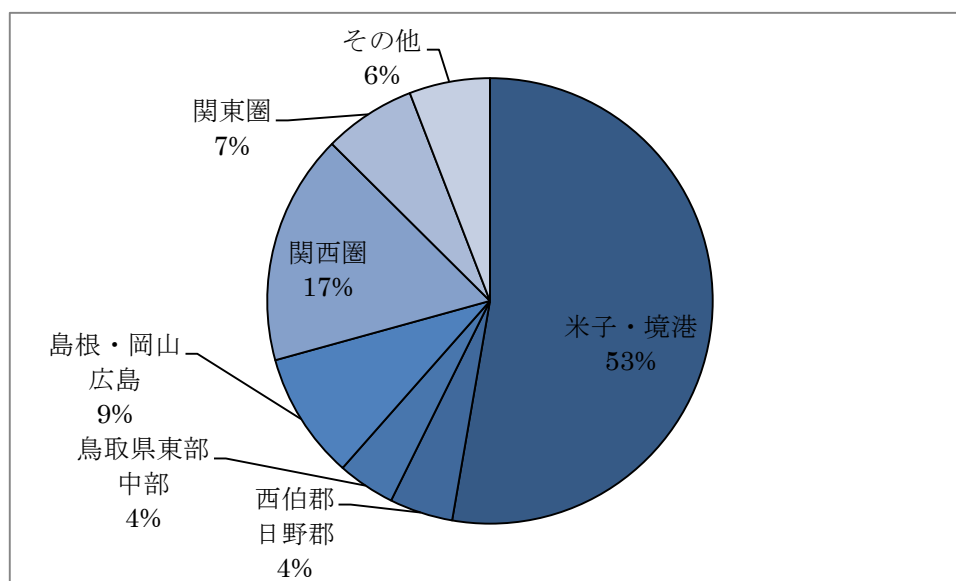
図2 年齢



	年齢	
	度数	パーセント (%)
30代	7	2.8
40代	20	8.1
50代	34	13.8
60代	95	38.6
70代	61	24.8
80代以上	29	11.8
合計	246	100.0

図2は、アンケート回答者の年齢の分布を示したグラフである。「60代」の割合が最も大きく、全体の38%を占めている。次いで割合の大きい方から、「70代」、「50代」、「80代以上」と続く。40代以下が占める割合は全体の11%である。ここから、財の管理が60代以上の方々によって担われていると考えられる。

図3 現在居住地

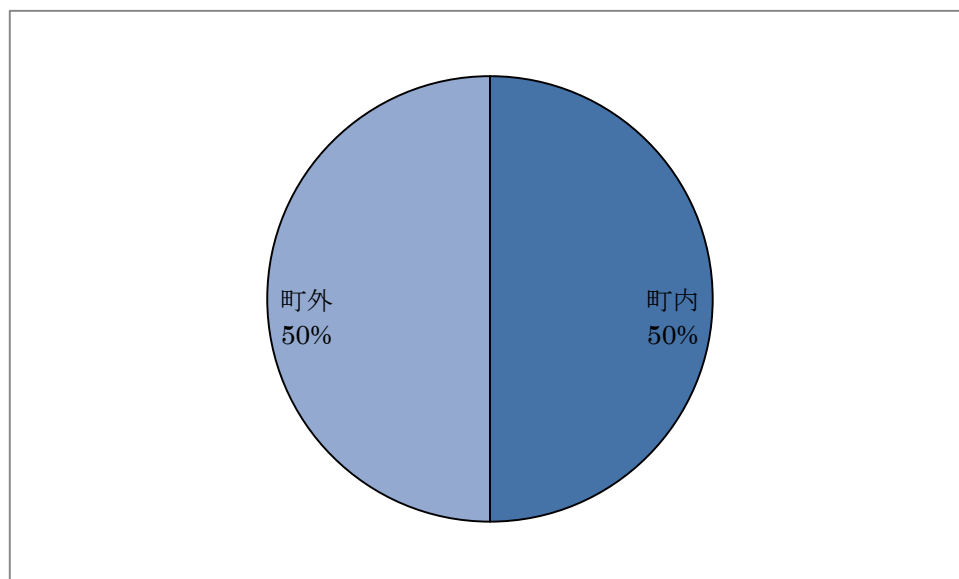


現在居住地

	度数	パーセント (%)
米子・境港	126	52.7
西伯郡・日野郡	11	4.6
鳥取県東部・中部	10	4.2
島根・岡山・広島	22	9.2
関西圏	40	16.7
関東圏	16	6.7
その他	14	5.9
合計	239	100.0

図3は、アンケート回答者の現在居住地を示したものである。「米子・境港」と回答した割合は全体の53%と最も大きい。さらに、「西伯郡・日野郡」、「鳥取県中東部・中部」を合わせると、回答者の61%が鳥取県内にお住まいであることがわかる。他方、「米子・境港」に次いで、「関西圏（大阪・兵庫・京都・滋賀・奈良）」の割合が大きく、全体の17%を占めている。ここから、回答者の多くは米子や境港などの南部町の周辺地域、もしくは関西圏にお住まいであることが分かる。

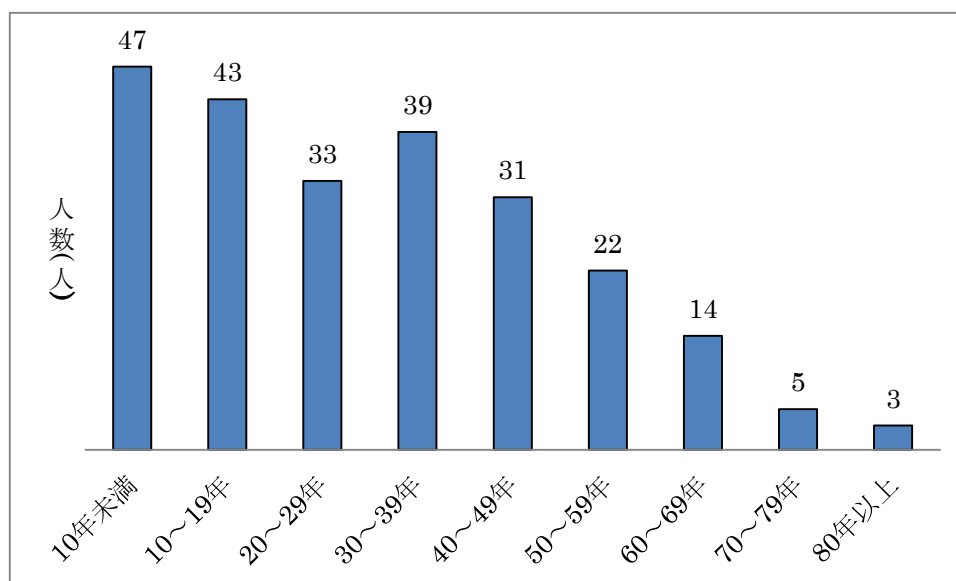
図4 出身地



出身地		
	度数	パーセント (%)
町内	123	50.0
町外	123	50.0
合計	246	100.0

図4は、アンケート回答者の出身地を示したグラフである。南部町内の出身者が50%を占めている。ここから、回答者のうち、半数が南部町内の出身であることが分かる。他方で、残りの半数は町外の出身であることが分かる。

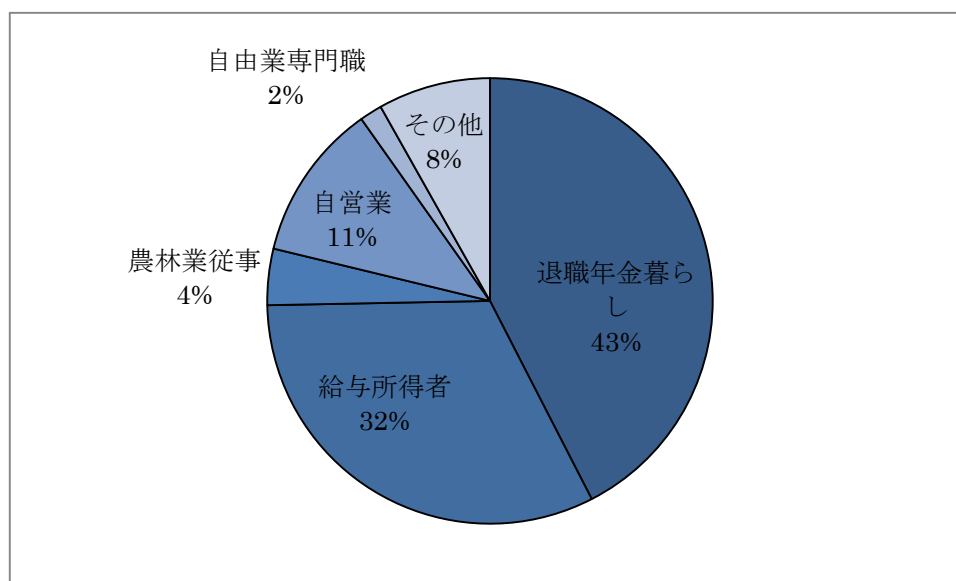
図5 居住年数



居住年数		
	度数	パーセント (%)
10年未満	47	19.8
10~19年	43	18.1
20~29年	33	13.9
30~39年	39	16.5
40~49年	31	13.1
50~59年	22	9.3
60~69年	14	5.9
70~79年	5	2.1
80年以上	3	1.3
合計	237	100.0

図5は、アンケート回答者の居住年数を示したグラフである。現在の居住地に住み始めてから「10年未満」経つと回答した割合がもっとも大きく、全体の20%を占めている。次いで割合の大きい「10年~19年」は、全体の18%を占めている。さらに、回答者のうち、「20~29年」が14%、「30~39年」が17%、「40~49年」が13%となっている。

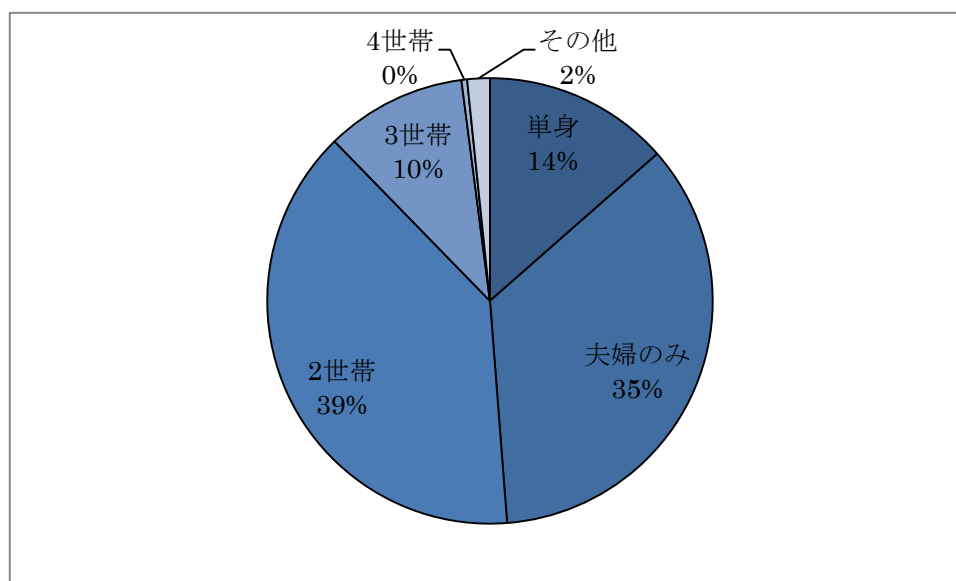
図6 職業



職業		
	度数	パーセント (%)
退職年金暮らし	104	42.4
給与所得者	79	32.2
農林業従事	10	4.1
自営業	28	11.4
自由業専門職	4	1.6
その他	20	8.1
合計	245	100.0

図6は、アンケート回答者の職業の分布を示したものである。「退職後あるいは年金暮らし」と回答した方の割合が大きく、全体の43%を占めている。他方で、「給与所得者」の割合は32%となっている。また、「自営業」の割合は11%である。ここから、財産管理者の収入源のほとんどは年金、給与、自営業によるものである可能性が高いといえる。

図7 家族構成

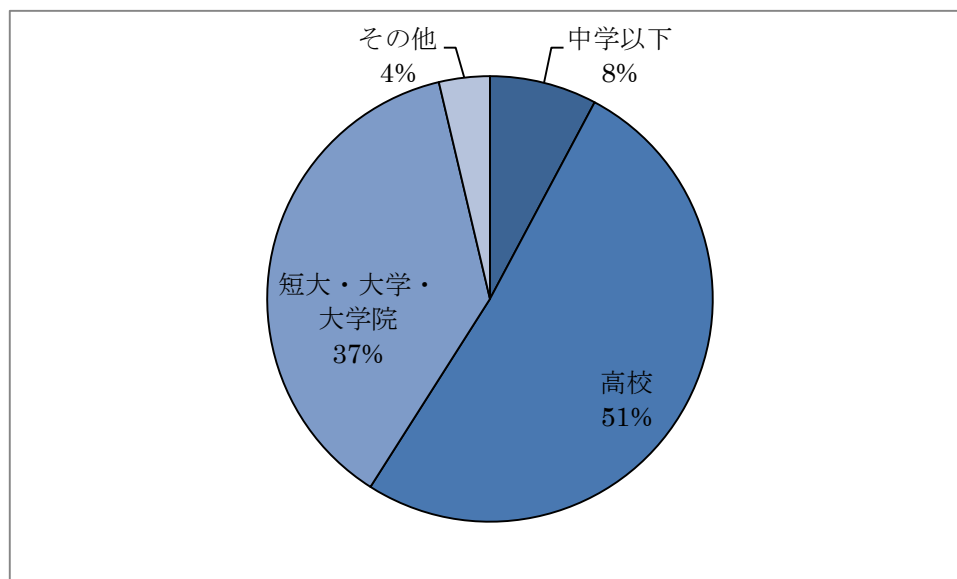


家族構成

	度数	パーセント (%)
单身	33	13.5
夫婦のみ	86	35.2
2世帯	95	38.9
3世帯	25	10.2
4世帯	1	.4
その他	4	1.6
合計	244	100.0

図7は、アンケート回答者の家族構成を示したものである。割合が大きいものから順に、「2世帯」が39%、「夫婦のみ」が35%、「单身」が14%、「3世帯」が10%となっている。全国の世帯種別比率（厚生労働省「平成23年度国民生活基礎調査」より）を見ると、单身世代が25%、核家族総数数（「夫婦のみ」、「夫婦と子」を含む）が60%、3世帯が8%となっている。これと比較すると、アンケートの回答者は、单身者の割合が小さいといえる。

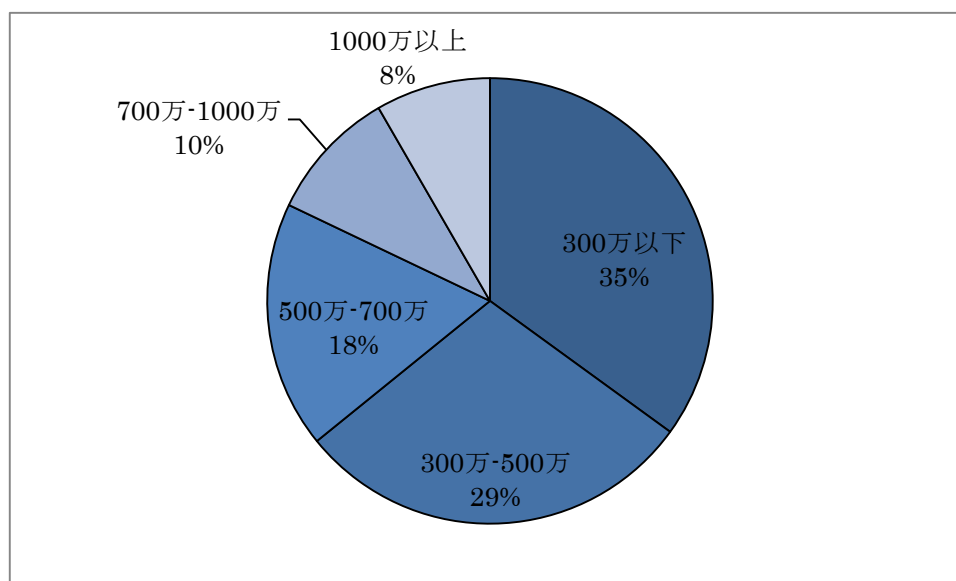
図8 学歴



学歴		
	度数	パーセント (%)
中学以下	19	7.8
高校	125	51.2
大学・大学院	91	37.3
その他	9	3.7
合計	244	100.0

図8は、アンケート回答者の教育歴の分布を表したものである。これを見ると、回答者の50%以上が高等学校での教育を受けていることが分かる。短大以上の教育を受けている方は、37%である。

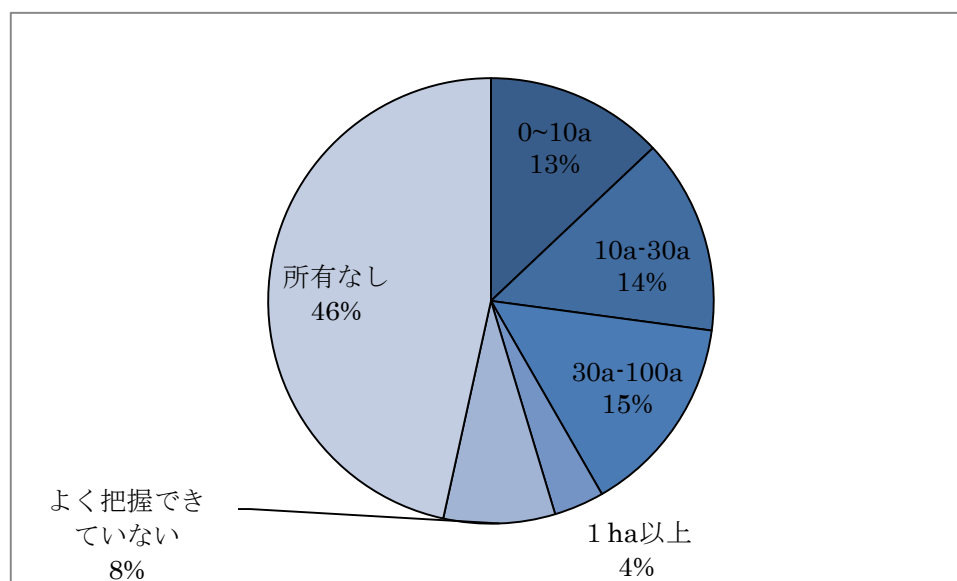
図9 世帯収入



世帯収入			
	度数	パーセント (%)	
300万円以下	84	35.0	
300-500	70	29.2	
500-700	43	17.9	
700-1000	23	9.6	
1000万-	20	8.3	
合計	240	100.0	

図9は、アンケート回答者の世帯収入を示したものである。300万円以下の世帯の割合が最も大きく、全体の35%を占めている。次いで、300万円から500万円以下の世帯の割合が大きく、全体の29%を占めている。

図10 農地所有面積

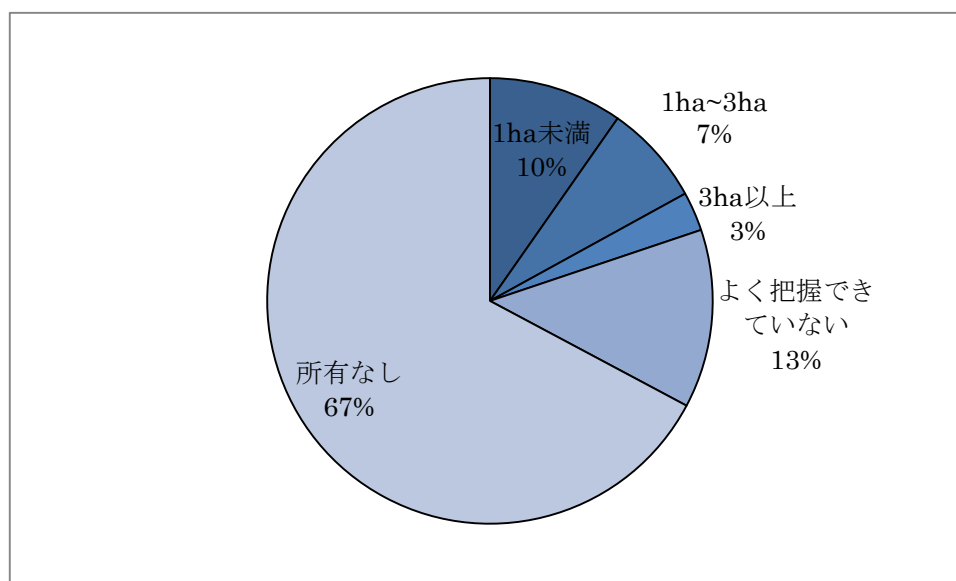


農地所有

	度数	パーセント (%)
0~10a	32	13.0
10a-30a	35	14.2
30a-100a	36	14.6
1ha-2ha	6	2.4
2ha-5ha	3	1.2
よく把握できていない	20	8.1
所有なし	115	46.6
合計	247	100.0

図10は、農地の保有面積の分布を示したものである。回答者のうち、約半分は農地を所有していない。その一方で、回答者のうち約半数が農地を保有している。その内訳は、割合が大きいものから順に、「30a~100a」の所有が15%、「10a~30a」の所有が14%、「10a未満」の所有は13%である。「1ha以上」の所有は4%に留まっている。ここから、町外在住者の農地の保有面積は、おおむね1ha未満であると考えられる。

図 1 1 人工林所有面積

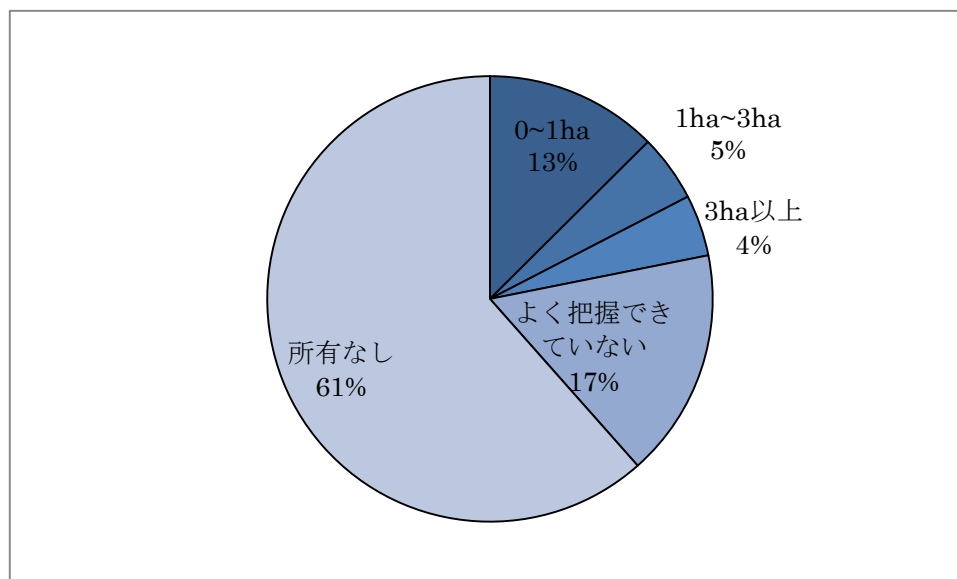


人工林所有

	度数	パーセント (%)
0~1ha	24	9.7
1ha~3ha	18	7.3
3ha~5ha	2	.8
5ha~10ha	1	.4
10ha~	4	1.6
よく把握できていない	32	13.0
所有なし	166	67.2
合計	247	100.0

図 1 1 は、人工林（スギ、ヒノキなど）の所有面積の分布を示したものである。回答者の 67% は人工林を所有していないことが分かる。他方で、人工林を所有していると回答された方々の割合を足すと 33% が人工林を所有していることが分かる。所有面積ごとに回答の割合を見てみると、「1ha 未満」の所有が 10%、「1ha~3ha」の所有が 7%、「3ha 以上」の所有が 3% である。

図 1 2 雑木林所有面積

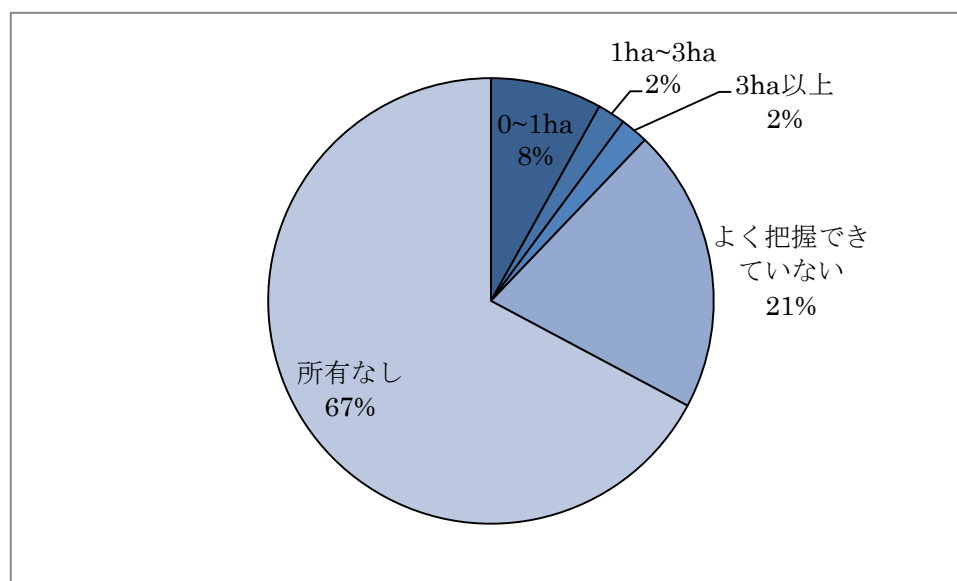


雑木林所有

	度数	パーセント (%)
0~1ha	31	12.6
1ha~3ha	12	4.9
3ha~5ha	5	2.0
5ha~10ha	4	1.6
10ha~	2	.8
よく把握できていない	41	16.6
所有なし	152	61.5
合計	247	100.0

図 1 2 は、雑木林の所有面積の分布を示したものである。回答者の 61%が雑木林を所有していない。他方で、雑木林を所有していると回答された方々の割合を足すと 39%が雑木林を所有している。所有面積ごとに回答の割合を見てみると、「1ha 未満」の所有が 13%、「1ha~3ha」の所有が 5%、「3ha 以上」の所有は 4%となっている。

図 1 3 共有林所有面積

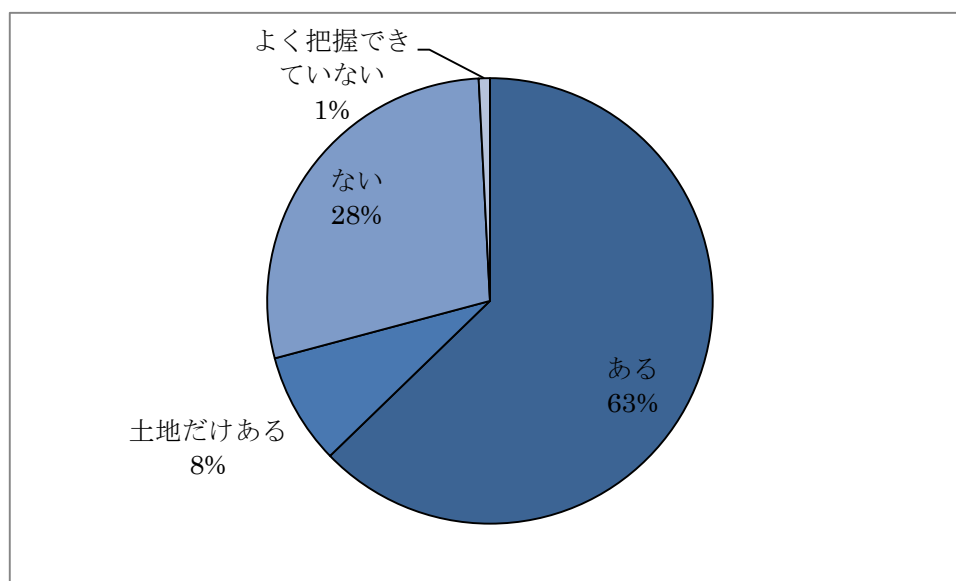


共有林所有

	度数	パーセント (%)
0~1ha	20	8.1
1ha~3ha	5	2.0
3ha~5ha	1	.4
5ha~10ha	1	.4
10ha~	3	1.2
よく把握できていない	51	20.6
所有なし	166	67.2
合計	247	100.0

図 1 3 は、共有林の所有面積の分布を示したものである。回答者の 67%は共有林を所有していない。他方で、共有林を所有していると回答された方々の割合を足すと 33%が共有林を所有していることが分かる。所有面積ごとに回答の割合を見てみると、「1ha 未満」の所有が 8%、「1ha~3ha」の所有が 2%、「3ha 以上」の所有は 2%となっている。

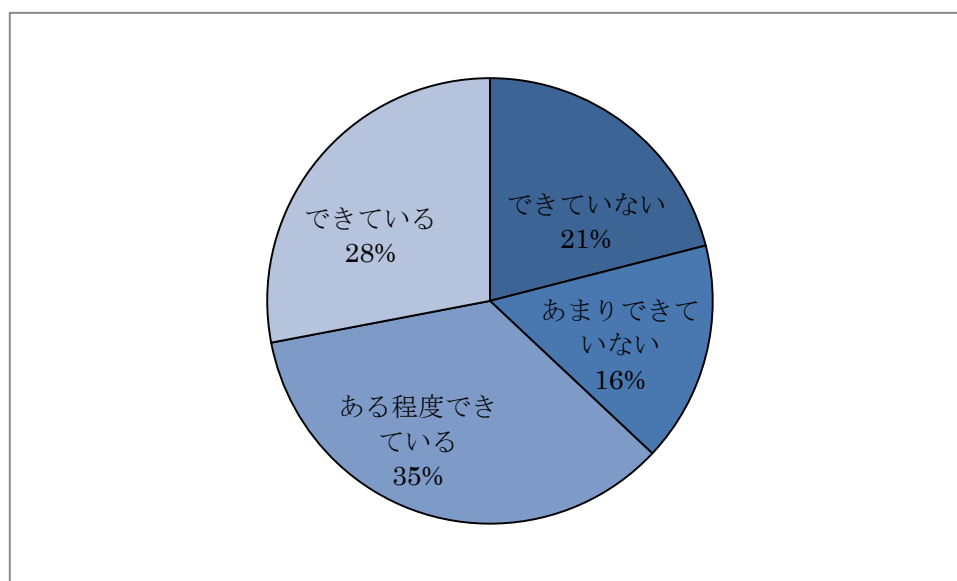
図14 家屋の所有



家屋所有		
	度数	パーセント (%)
ある	155	62.8
土地だけある	20	8.1
ない	70	28.3
よく把握できていない	2	.8
合計	247	100.0

図14は、アンケート回答者が南部町に家屋を所有しているかどうかを示したものである。回答者のうち、63%が南部町に家屋を所有していることが分かる。他方で、28%は家屋を所有していない。また、建物はないが敷地のみ保有していると回答した割合は8%である。

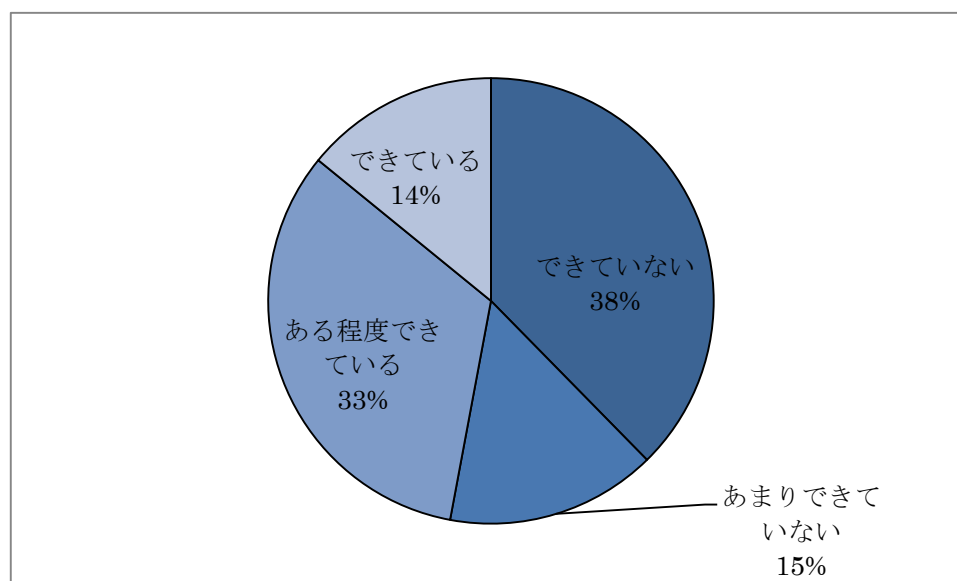
図15 田の管理



田の管理		
	度数	パーセント (%)
できていない	21	21.0
あまりできていない	16	16.0
ある程度できている	35	35.0
できている	28	28.0
合計	100	100.0

図15は、アンケートで田を所有していると答えた方の田の管理状況を示したものである。最も多い回答は、管理が「ある程度できている」(35%)である。「できている」と「ある程度できている」を合わせると、63%の回答者が、田の管理ができていることになる。他方で、管理が「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、その割合は37%となる。ここから、町外にお住いの方の田は、おおむね管理されていることが分かる。

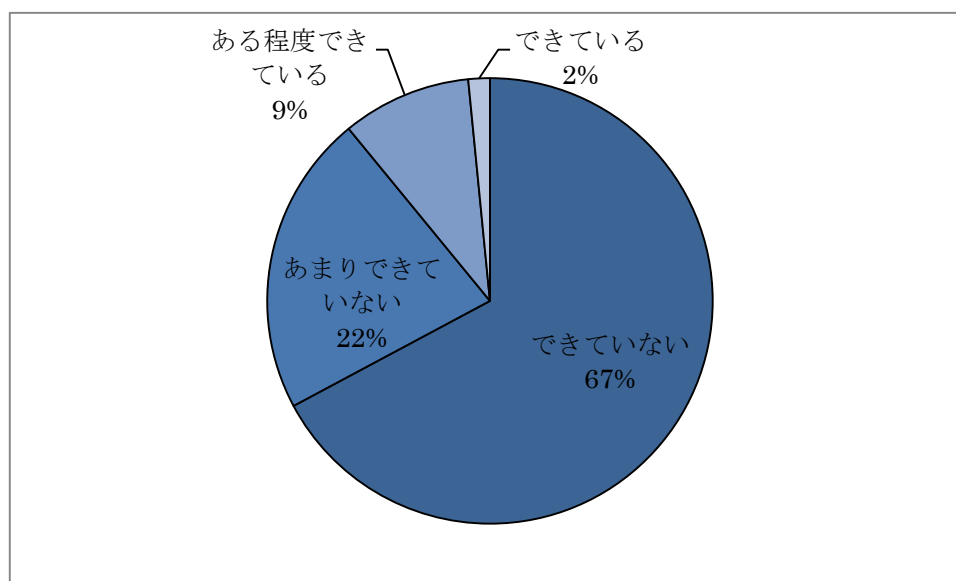
図16 畑の管理



	度数	パーセント (%)
できていない	32	37.6
あまりできていない	13	15.3
ある程度できている	28	32.9
できている	12	14.1
合計	85	100.0

図16は、アンケートで畑を所有していると答えた方の畑の管理状況を示したものである。最も多い回答は、管理が「できていない」(38%)である。「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、53%の回答者は畑を管理できていないことになる。他方で、管理が「できている」、「ややできている」と回答した割合は47%である。ここから、町外にお住まいの方のなかには、南部町の畑を管理できている方がいる一方で、畑を十分に管理できていない方もいるといえる。

図17 人工林の管理

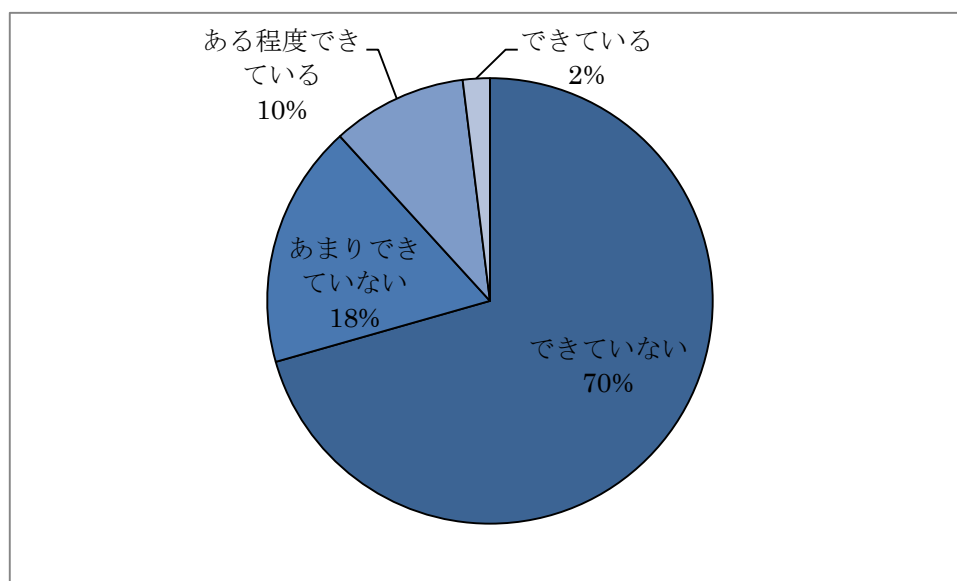


人工林の管理

	度数	パーセント (%)
できていない	43	67.2
あまりできていない	14	21.9
ある程度できている	6	9.4
できている	1	1.6
合計	64	100.0

図17は、アンケートで人工林を所有していると答えた方の人工林の管理状況を示したものである。最も多い回答は、管理が「できていない」(67%)である。また、「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、89%となる。他方で、管理「できている」、「ややできている」と回答した割合は11%である。ここから、町外にお住まいの方は、人工林を必ずしも十分に管理できていない可能性があるといえる。

図18 共有林の管理

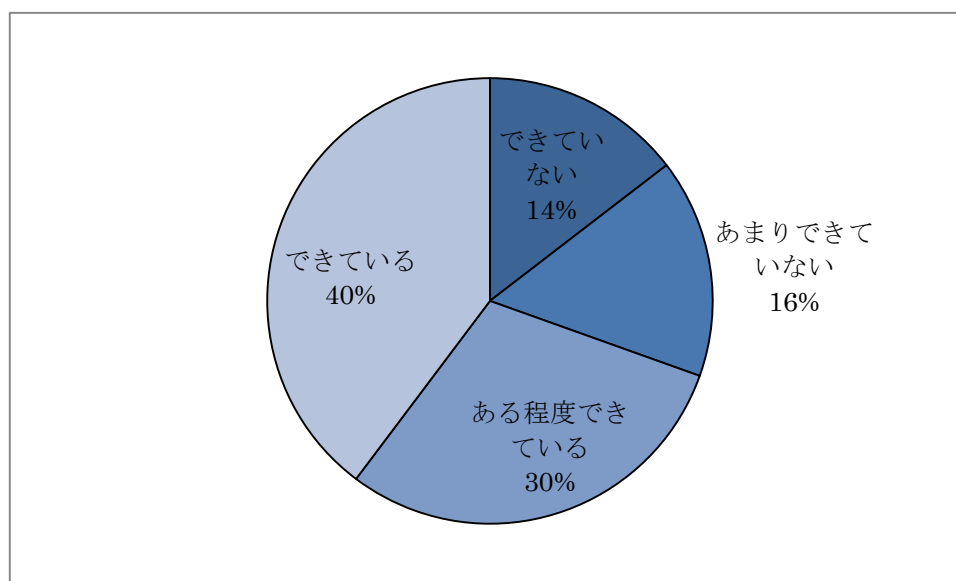


共有林の管理

	度数	パーセント (%)
できていない	36	70.6
あまりできていない	9	17.6
ある程度できている	5	9.8
できている	1	2.0
合計	51	100.0

図18は、アンケートで共有林を所有していると答えた方の共有林の管理状況を示したものである。最も多い回答は管理が「できていない」(70%)である。「できていない」と「あまりできていない」を合わせると88%の回答者が共有林を管理できていないことになる。他方で、管理「できている」、「ややできている」と回答した割合は12%である。ここから、町外にお住まいの方は人工林と同様に共有林の管理もうまく行えていない可能性があるといえる。

図19 家屋の管理

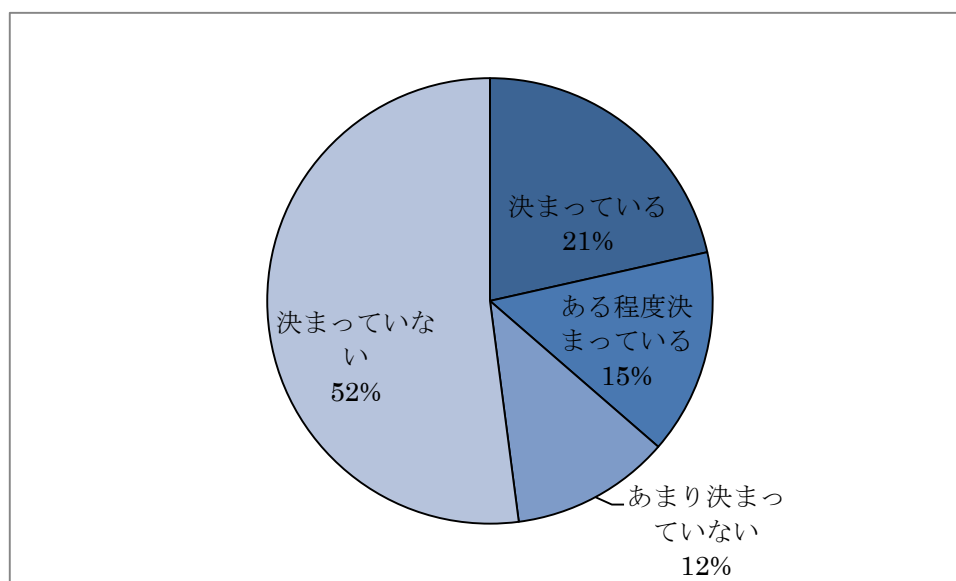


家屋の管理

	度数	パーセント (%)
できていない	22	14.6
あまりできていない	24	15.9
ある程度できている	45	29.8
できている	60	39.7
合計	151	100.0

図19は、アンケートで家屋を所有していると答えた方の家屋の管理状況を示したものである。最も多い回答は、管理が「できている」(40%)である。また、「できている」と「ある程度できている」を合わせると、70%の回答者が家屋を管理できていることになる。他方で、管理が「できていない」と「あまりできていない」を合わせると、その割合は30%となる。ここから、町外にお住まいの方の家屋はおおむね管理できていることが分かる。

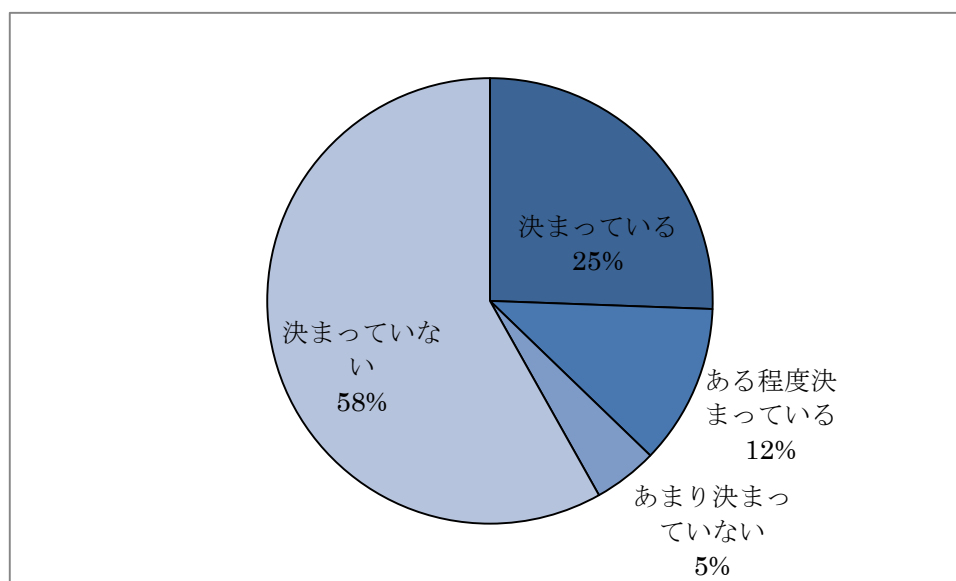
図 2 0 農地継承



農地継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	26	21.5
ある程度決まっている	18	14.9
あまり決まっていない	14	11.6
決まっていない	63	52.1
合計	121	100.0

図 2 0 は、農地の次期継承者の決定状況を示したグラフである。最も多い回答は、農地の継承者が「決まっていない」(52%) である。「決まっていない」と「あまり決まっていない」を合わせると、64%となる。他方で、「決まっている」、「ある程度決まっている」と回答した割合は 36%である。ここから、町外にお住まいの方が所有する農地は、後継者が決まっていない可能性が高いといえる。

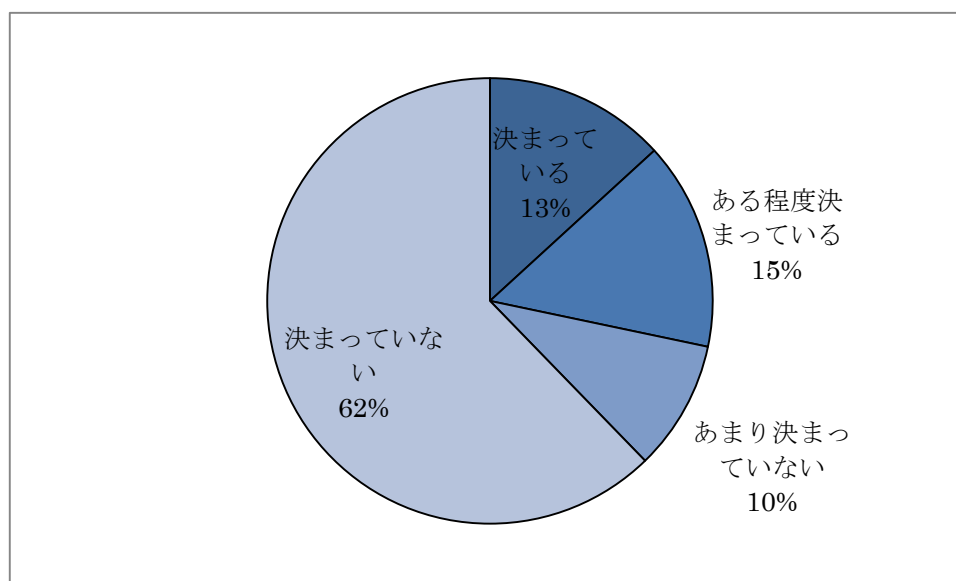
図 2 1 山林継承



山林継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	22	25.6
ある程度決まっている	10	11.6
あまり決まっていない	4	4.7
決まっていない	50	58.1
合計	86	100.0

図 2 1 は、山林の次期継承者の決定状況を示したグラフである。最も多い回答は、山林の継承者が「決まっていない」(58%) である。「決まっていない」と「あまり決まっていない」を合わせると、63%となる。他方で、「決まっている」、「ある程度決まっている」と回答した割合は 37%である。ここから、町外にお住まい方が所有する山林は、後継者が決まっていない可能性が高いといえる。

図 2 2 共有林継承

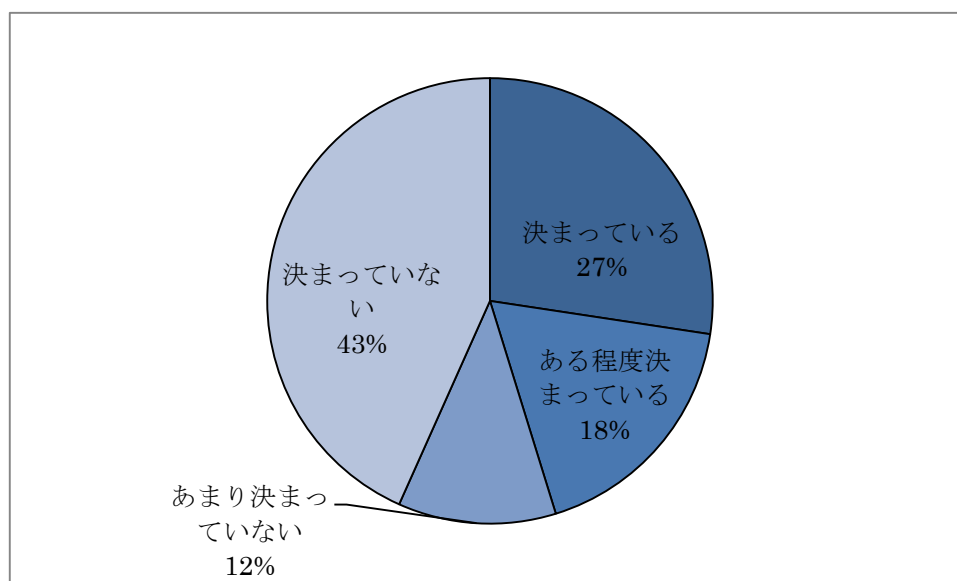


共有林継承

	度数	パーセント (%)
決まっている	7	13.2
ある程度決まっている	8	15.1
あまり決まっていない	5	9.4
決まっていない	33	62.3
合計	53	100.0

図 2 2 は、共有林の次期継承者の決定状況を示したグラフである。最も多い回答は、共有林の継承者が「決まっていない」(62%)である。「決まっていない」と「あまり決まっていない」を合わせると、その割合は 72%となる。他方で、「決まっている」、「ある程度決まっている」と答えた割合は 28%である。ここから、町外にお住まいの方が所有する共有林は、後継者が決まってない可能性が高いといえる。

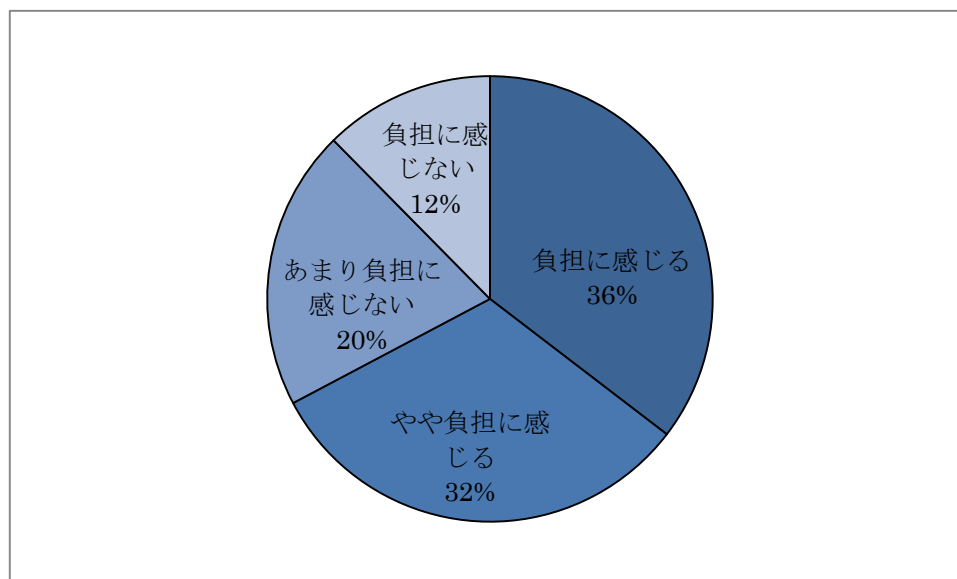
図 2 3 家屋継承



家屋継承		
	度数	パーセント (%)
決まっている	43	27.4
ある程度決まっている	28	17.8
あまり決まっていない	18	11.5
決まっていない	68	43.3
合計	157	100.0

図 2 3 は、家屋の次期継承者の決定状況を示したグラフである。最も多い回答は、家屋の継承者が「決まっていない」(43%) である。「決まっていない」と「あまり決まっていない」を合わせると、その割合は 55%となる。他方で、「決まっている」、「ある程度決まっている」と答えた割合は 45%である。ここから、半数以上の回答者の後継者が決まっていないことがわかる。

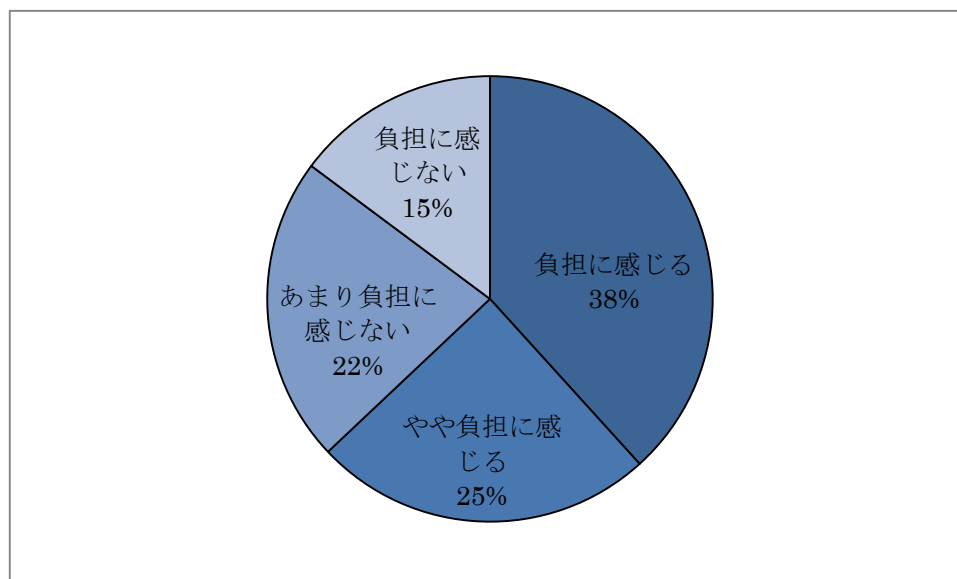
図 2 4 農地に対する金銭的・精神的負担感



農地負担		
	度数	パーセント (%)
負担を感じる	40	35.4
やや負担を感じる	36	31.9
あまり負担に感じない	23	20.4
負担に感じない	14	12.4
合計	113	100.0

図 2 4 は、農地を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。「負担を感じる」と回答した割合が最も大きく、36%である。「負担を感じる」と「やや負担を感じる」を合わせると、その割合は 68%となる。他方で、「負担に感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 32%である。ここから、町外にお住まいの方が、農地を管理することに負担を感じている可能性が高いといえる。

図 2 5 山林負担

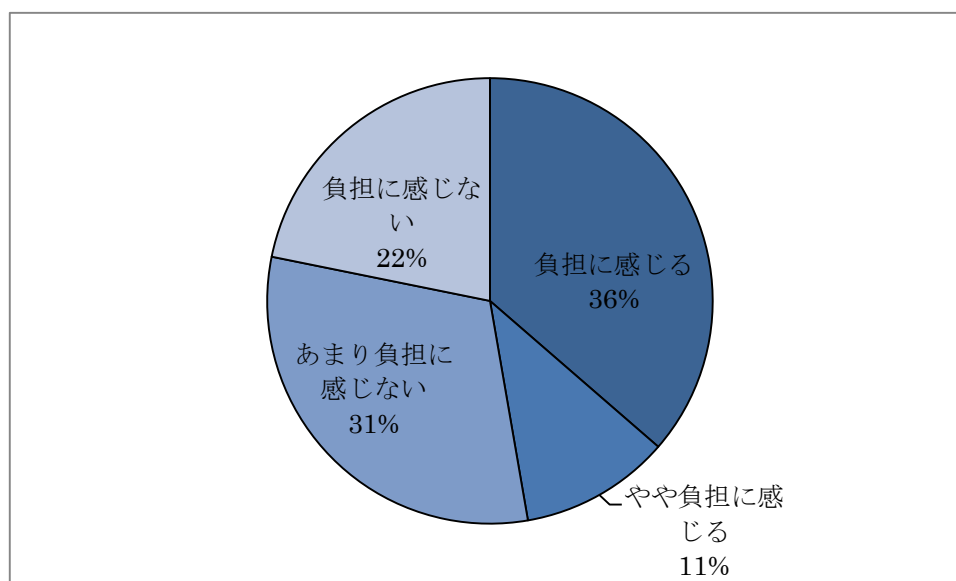


山林負担

	度数	パーセント (%)
負担を感じる	31	38.3
やや負担を感じる	20	24.7
あまり負担に感じない	18	22.2
負担に感じない	12	14.8
合計	81	100.0

図 2 5 は、個人所有の山林を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。「負担を感じる」と回答した割合が最も大きく、38%である。「負担を感じる」と「やや負担を感じる」を合わせると、その割合は 63%になる。他方で、「負担に感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 37%である。ここから、町外にお住まいの方が、山林を管理することに負担を感じている可能性が高いといえる。

図 2 6 共有林負担

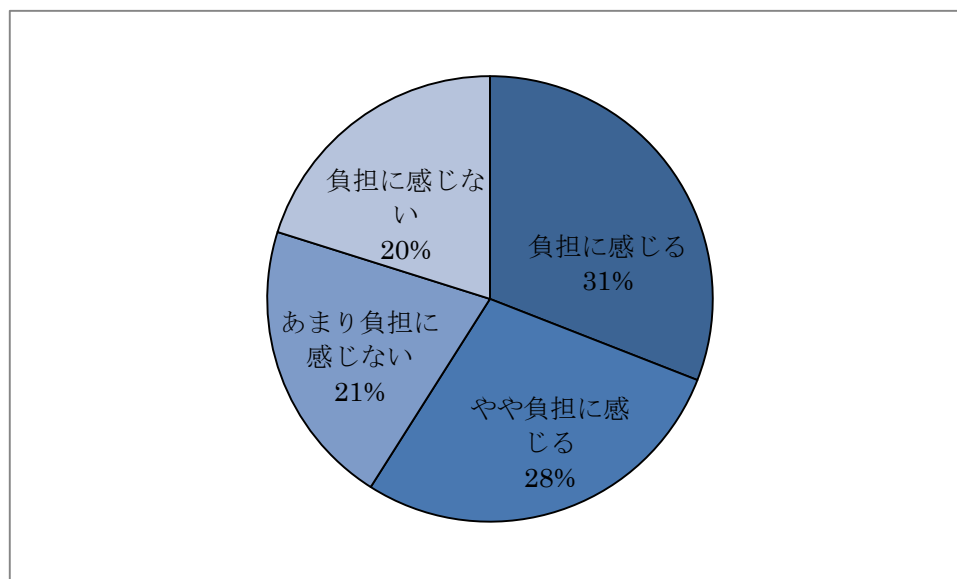


共有林負担

	度数	パーセント (%)
負担を感じる	20	36.4
やや負担を感じる	6	10.9
あまり負担に感じない	17	30.9
負担に感じない	12	21.8
合計	55	100.0

図 2 6 は、共有林を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。「負担を感じる」と回答した割合が最も大きく、36%である。負担を「感じる」と「やや感じる」を合わせると、その割合は 47%となる。他方で、「負担に感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 53%である。ここから、町外にお住まいの方は、農地や山林の場合ほど共有林を管理することに負担を感じていない可能性があるといえる。

図 2 7 家屋負担

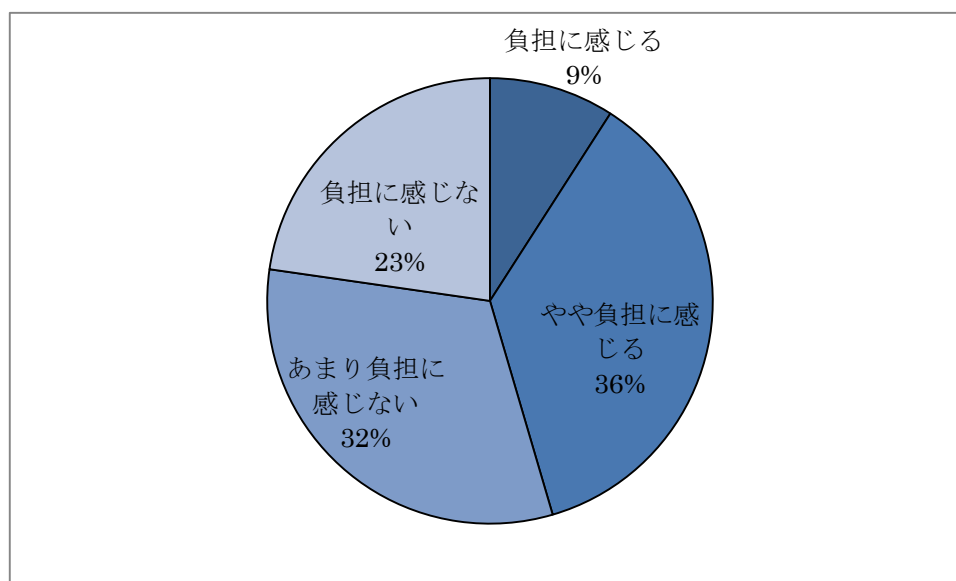


家屋負担

	度数	パーセント (%)
負担を感じる	43	30.9
やや負担を感じる	39	28.1
あまり負担に感じない	29	20.9
負担に感じない	28	20.1
合計	139	100.0

図 2 7 は、家屋を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。「やや負担を感じる」と回答した割合が最も大きく、28%である。「負担を感じる」と「やや負担を感じる」を合わせると、その割合は 59%となる。他方で、「負担に感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 41%である。ここから、町外にお住まいの方が、家屋を管理することに負担を感じている可能性が高いといえる。

図 2 8 賃貸家屋負担

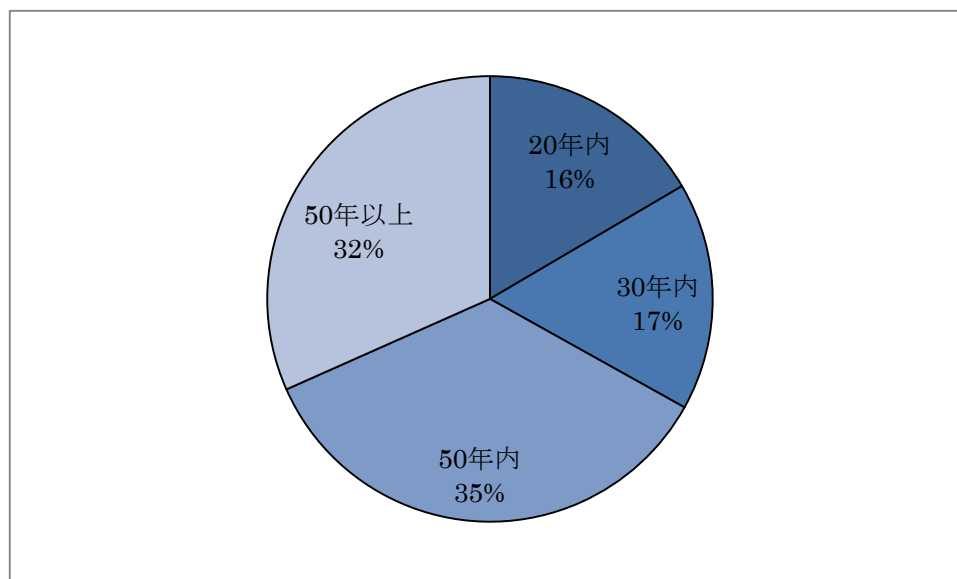


賃貸家屋負担

	度数	パーセント (%)
負担を感じる	2	9.1
やや負担を感じる	8	36.4
あまり負担に感じない	7	31.8
負担に感じない	5	22.7
合計	22	100.0

図 2 8 は、賃貸家屋を管理することに対して金銭的、精神的な負担を感じている人の割合を示したものである。「やや負担を感じる」と回答した割合が最も大きく、36%である。「負担を感じる」と「やや負担を感じる」を合わせると、その割合は 45%となる。他方で、「負担に感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 55%である。ここから、半数以上の賃貸家屋の家主にとって、賃貸家屋の管理は負担になっていないことが分かる。その一方で、管理することに負担を感じている方もいることが分かる。

図 2 9 家屋築年数

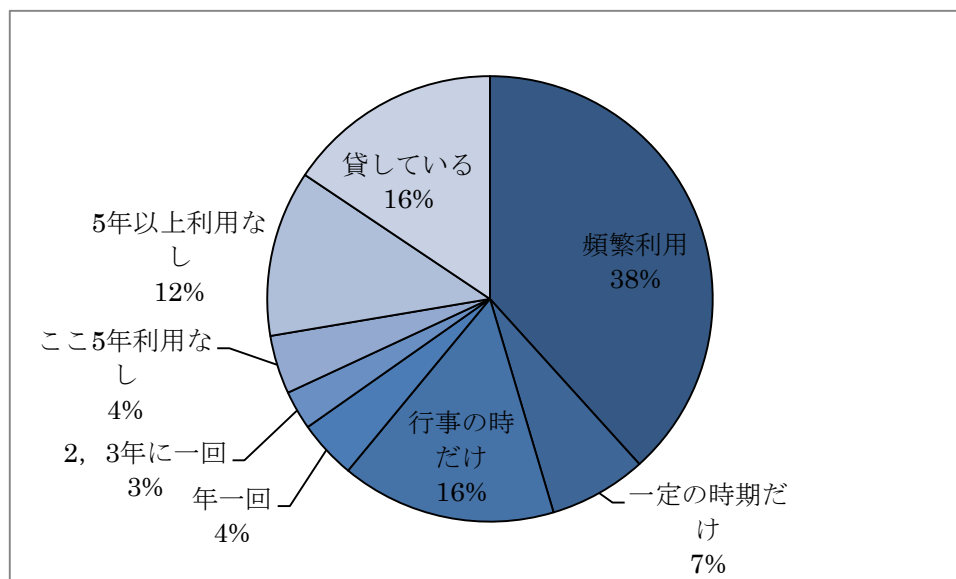


家屋の築年数

	度数	パーセント (%)
20年内	23	16.5
30年内	23	16.5
50年内	49	35.3
50年以上	44	31.7
合計	139	100.0

図 2 9 は、家屋の築年数を示したグラフである。「築 50 年内」と回答した割合が最も大きく、35%である。次いで、「築 50 年以上」が 32%、「築 30 年内」が 17%、「築 20 年内」が 16%である。ここから、町外にお住まいの方が所有されている家屋の多くが、築 30 年以上経っているものである可能性があるといえる。

図30 家屋利用頻度

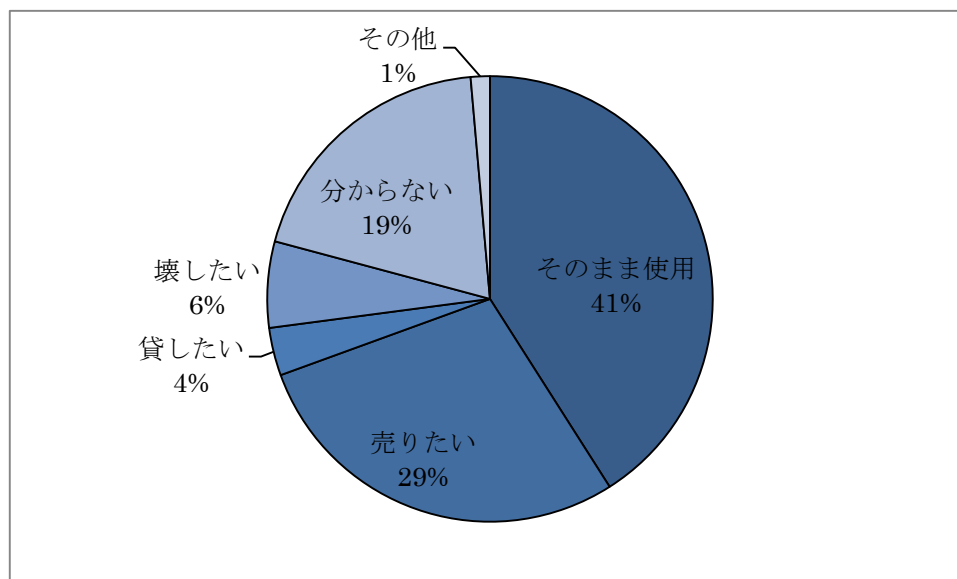


家屋利用頻度

	度数	パーセント (%)
頻繁利用	54	38.3
一定の時期だけ	10	7.1
行事の時だけ	22	15.6
年一回	6	4.3
2, 3年に一回	4	2.8
ここ5年利用なし	6	4.3
5年以上利用なし	17	12.1
貸している	22	15.6
合計	141	100.0

図30は、家屋の利用頻度を示したものである。最も多い回答は、「頻繁に利用している」(38%)である。次いで割合の大きいものから順に、「行事のときだけ利用している」が16%、「5年以上利用していない」が12%である。また、16%の回答者が「貸している」と回答している。

図3 1 家屋についての今後の意向

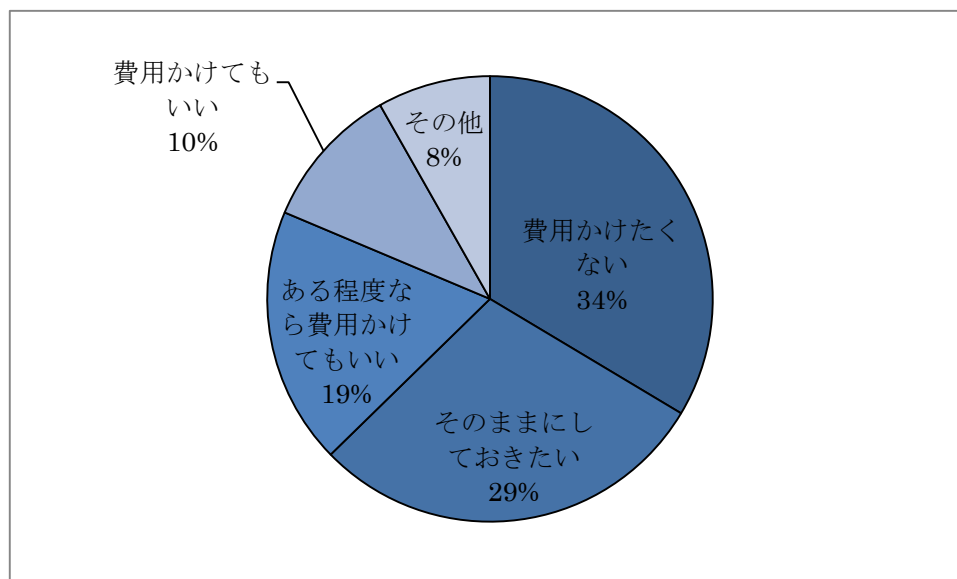


家屋についての今後の意向

	度数	パーセント (%)
そのまま使用	59	41.0
売りたい	41	28.5
貸したい	5	3.5
壊したい	9	6.3
分からない	28	19.4
その他	2	1.4
合計	144	100.0

図3 1は、南部町に所有している家屋を今後どのように扱いたいをお伺いしたものである。最も多い回答は、「そのまま使用したい」(41%)である。次いで割合の大きいものから順に、「売りたい」が29%、「分からない」が19%である。ここから、今後の家屋の扱いについて、約40%の回答者が現状を維持する考えを持っていることがわかる。その一方で、同じくらいの割合の回答者が売却、貸付、取り壊しなど何らかの対応をとる考えを持っていることがわかる。

図 3 2 老朽化家屋の処分

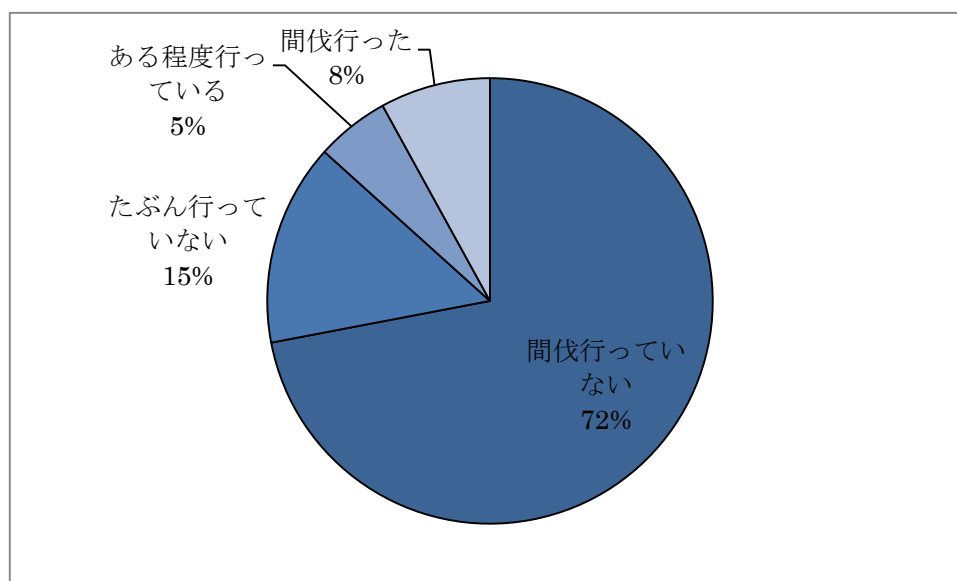


老朽化家屋の処分

	度数	パーセント (%)
費用かけたくない	45	33.6
そのままにしておきたい	39	29.1
ある程度費用かけてもいい	25	18.7
費用かけてもいい	14	10.4
その他	11	8.2
合計	134	100.0

図 3 2 は、老朽化した家屋の処分について、どのように考えているかをお伺いしたものである。「費用をかけたくない」と回答した割合は 34%であり、最も大きい。次いで、29%の回答者が「そのままにしておきたい」と回答している。他方で、「費用をかけてもいい」、「ある程度なら費用をかけてもいい」と回答した割合は 29%である。ここから、町外にお住まいの家屋の所有者の多くは、家屋を処分することに対してあまり積極的に考えていない傾向があるといえる。その一方で、約 30%の回答者は処分にある程度費用をかけて良いと考えていることが分かる。

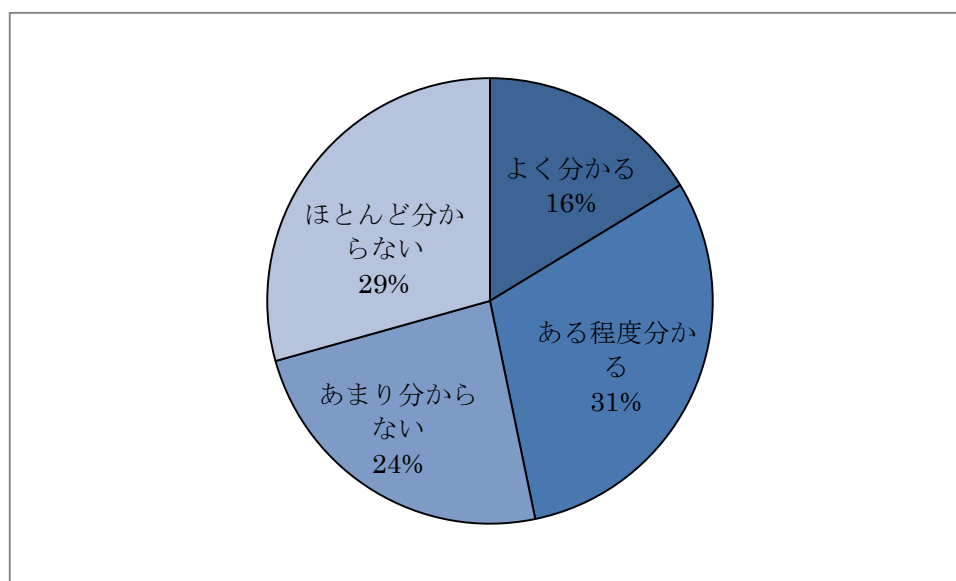
図 3 3 人工林の間伐



間伐		
	度数	パーセント (%)
間伐行っていない	54	72.0
たぶん行っていない	11	14.7
ある程度行っている	4	5.3
間伐行った	6	8.0
合計	75	100.0

図 3 3 は、山林（私有人工林と共有林）の所有者のうち、この 10 年以内に間伐を行った方の割合を示している。最も多い回答は、間伐を「行っていない」（72%）である。間伐を「行っていない」と「たぶん行っていない」を合わせると、87%の回答者はこの 10 年間に間伐を行っていないことになる。他方で、間伐を「行った」、「ある程度行った」と回答した割合は 13%である。ここから、町外にお住まいの人工林の所有者は、間伐を十分に行えていない可能性があるといえる。

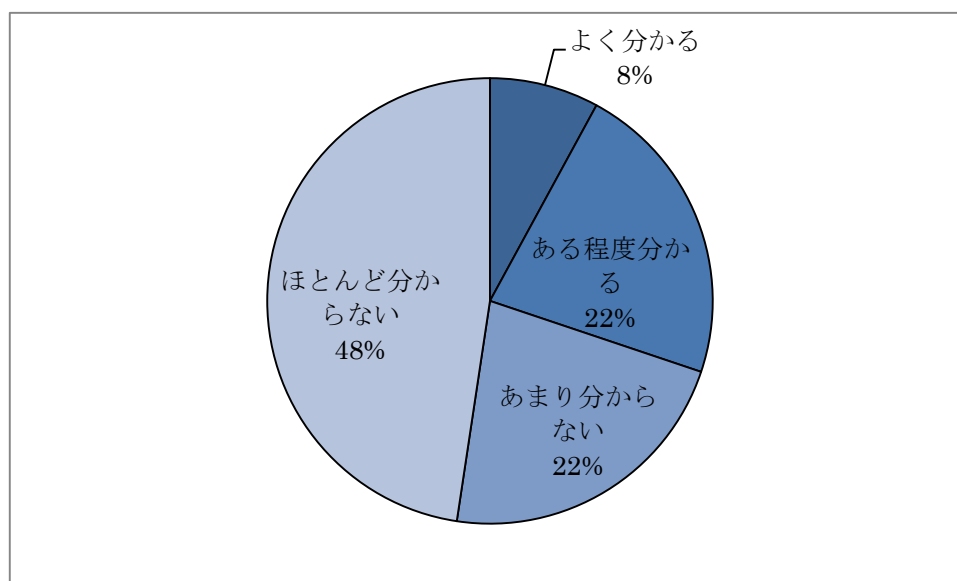
図3 4 山林場所



山林場所		
	度数	パーセント (%)
よく分かる	15	16.3
ある程度分かる	28	30.4
あまり分からない	22	23.9
ほとんど分からない	27	29.3
合計	92	100.0

図3 4は、山林の所有者に自身の所有している山林の場所を知っているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、場所が「ある程度分かる」(31%)である。「よく分かる」、「ある程度よく分かる」を合わせると、その割合は47%となる。他方で、場所が「ほとんど分からない」、「あまり分からない」と回答した割合は53%である。ここから、町外にお住まいの山林の所有者の多くが、自身が所有している山林の場所を把握していない可能性があるといえる。

図 3 5 共有林場所

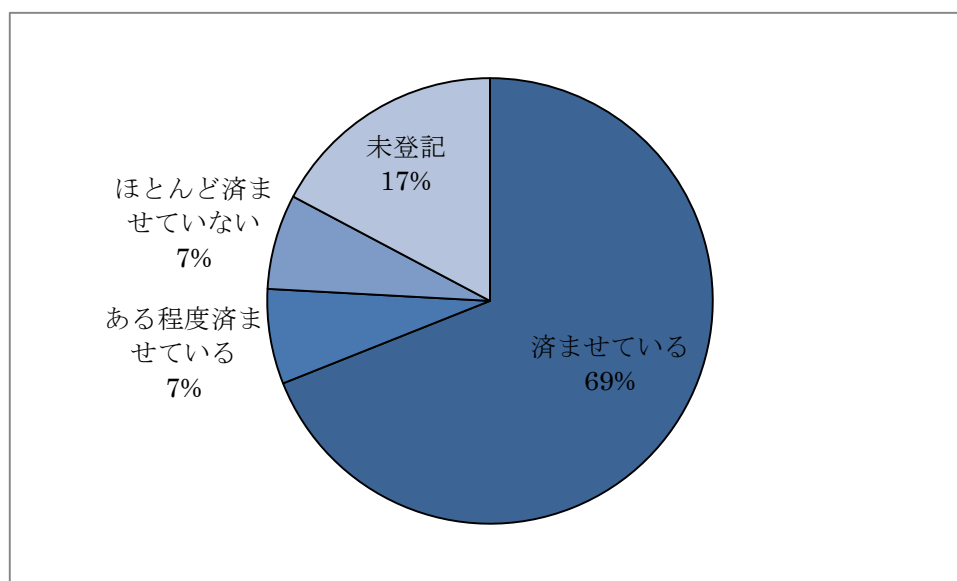


共有林場所

	度数	パーセント (%)
よく分かる	5	7.9
ある程度分かる	14	22.2
あまり分からない	14	22.2
ほとんど分からない	30	47.6
合計	63	100.0

図 3 5 は、共有林の所有者に自身の所有する共有林の場所を知っているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、場所が「ほとんど分からない」（48%）である。場所が「ほとんど分からない」、「あまり分からない」と回答した割合は 70%である。他方で、「よく分かる」、「ある程度よく分かる」を合わせると、その割合は 30%となる。ここから、町外にお住いの共有林の所有者の多くは、自身が所有している共有林の場所を把握していない可能性があるといえる。

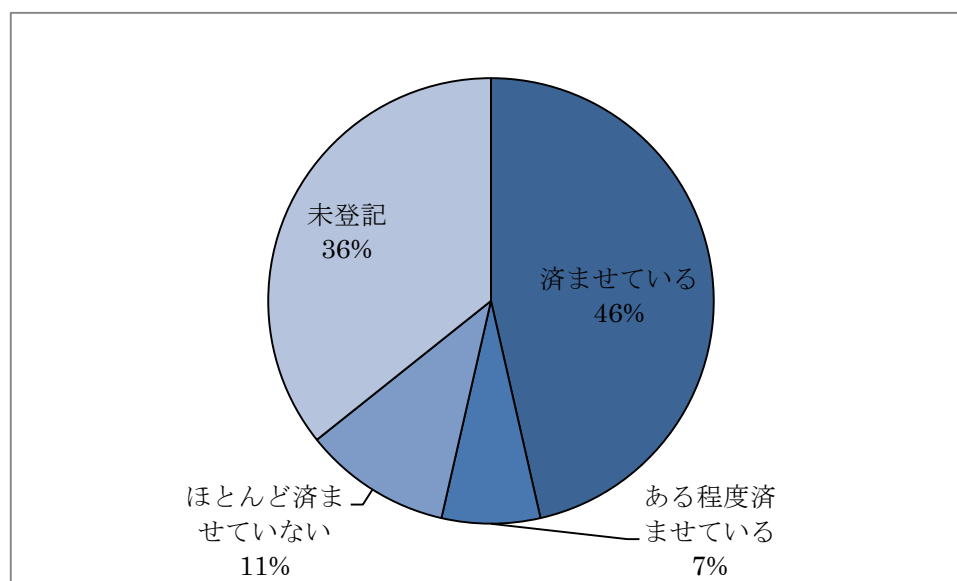
図36 山林登記



山林登記		
	度数	パーセント (%)
済ませている	60	69.0
ある程度済ませている	6	6.9
ほとんど済ませている	6	6.9
未登記	15	17.2
合計	87	100.0

図36は、山林の所有者の山林の登記状況を示したグラフである。最も多い回答は、登記を「済ませている」(69%)である。登記を「済ませている」と「ある程度済ませている」を合わせると、その割合は76%となる。他方で、登記を「済ませている」、「ほとんど済ませている」と回答した割合は24%である。ここから、町外にお住まいの山林の所有者は、おおむね山林の登記を済ませていることが分かる。

図 3 7 共有林登記

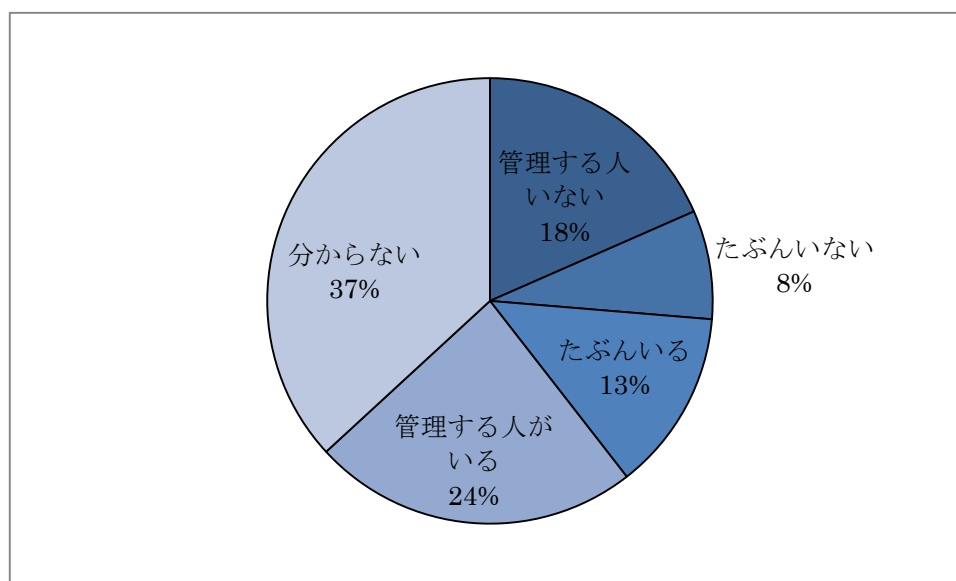


共有林登記

	度数	パーセント (%)
済ませている	26	46.4
ある程度済ませている	4	7.1
ほとんど済ませている	6	10.7
未登記	20	35.7
合計	56	100.0

図 3 7 は、共有林の所有者の共有林の登記状況を示したグラフである。最も多い回答は、登記を「済ませている」(46%) である。登記を「済ませている」と「ある程度済ませている」を合わせると、その割合は 53% となる。他方で、登記を「済ませている」「ほとんど済ませている」と回答した割合は 47% である。ここから、町外にお住まいの共有林の所有者の半数以上が登記を済ませている一方で、登記を済ませている方がかなり多くいる可能性があるといえる。

図 3 8 共有林次期代表者

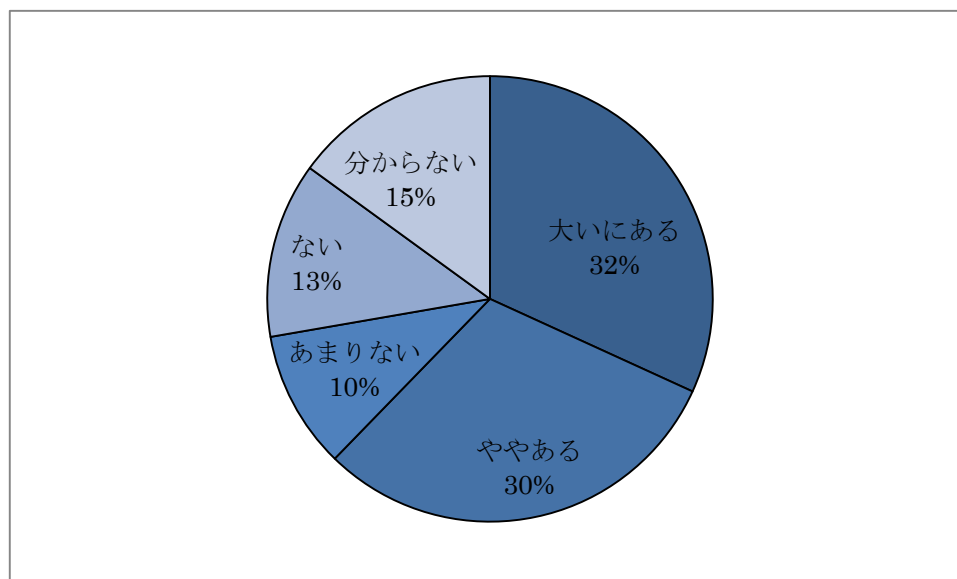


共有林次期代表者

	度数	パーセント (%)
管理する人いない	7	18.4
たぶんいない	3	7.9
たぶんいる	5	13.2
管理する人がいる	9	23.7
分からない	14	36.8
合計	38	100.0

図 3 8 は、代表者として共有林の管理されている方に次の代表者がいるかどうかをお伺いしたものである。回答者のうち、「分からない」と答えた割合が 37% で、最も大きい。また、「次期管理人がいる」、「たぶんいる」と回答した割合は 37% となる。他方で、「次期管理人がいない」、「たぶんいない」を合わせると、26% の回答者には共有林の代表を引き継ぐ方がいないことが分かる。

図39 今後も財産管理を行う意思の有無

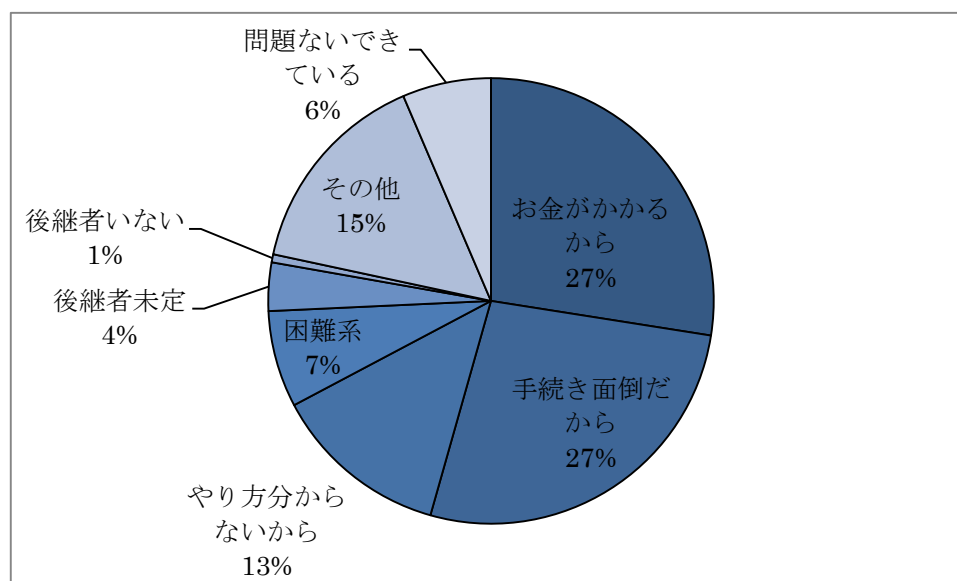


今後の財産管理の意思

	度数	パーセント (%)
大いにある	70	31.8
ややある	67	30.5
あまりない	22	10.0
ない	28	12.7
分からない	33	15.0
合計	220	100.0

図39は、自身の所有している財産（土地、家屋など）を今後も管理していく意思があるかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、今後も財産管理を行っていく気が「大いにある」（32%）である。「大いにある」と「ややある」を合わせると、その割合は62%となる。他方で、「ない」、「あまりない」と回答した割合は23%である。ここから、約60%の回答者が、今後も財産管理を行っていくつもりであることが分かる。

図 4 0 財産管理が難しい理由

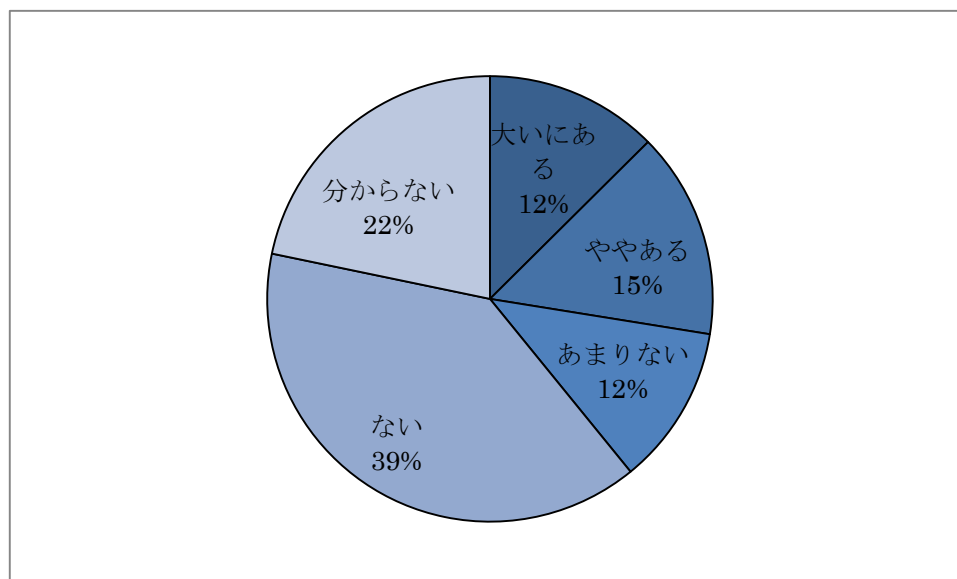


財産管理・理由

	度数	パーセント (%)
お金がかかるから	47	27.5
手続き面倒だから	46	26.9
やり方分からないから	22	12.9
困難系	12	7.0
後継者未定	6	3.5
後継者いない	1	.6
その他	26	15.2
問題ないできている	11	6.4
合計	171	100.0

図 4 0 は、財産を管理することを難しくさせている理由を示したものである。回答者のうち、「お金がかかるから」と回答した方が最も多く、その割合は 27% である。次いで割合の大きいものから順に、「手続きが面倒だから」が 27%、「やり方が分からないから」が 13% である。ここから、町外にお住まいの方々が財産管理を行っていくうえで、複雑な手続きや、費用が大きな負担となっている可能性があるといえる。

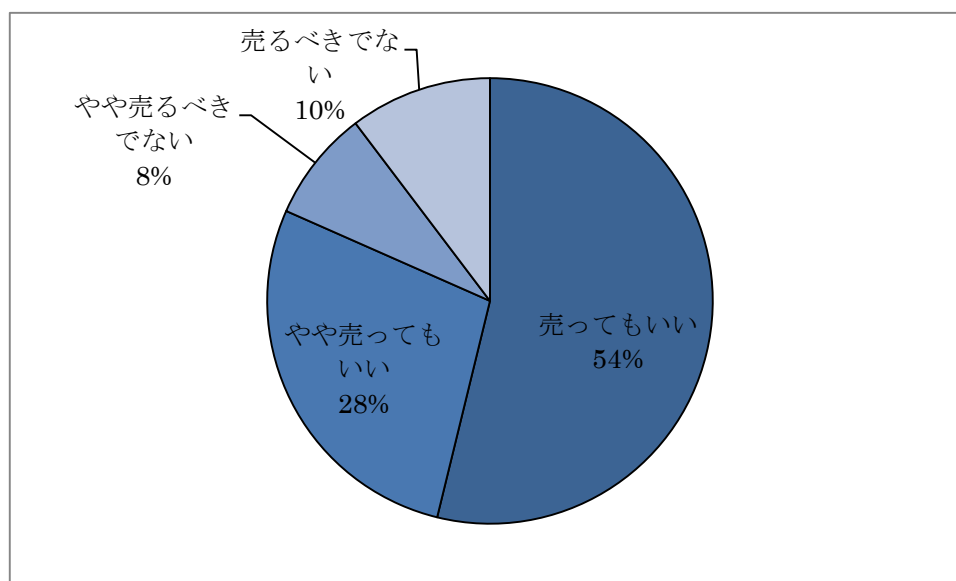
図 4 1 公的機関への財産の寄付希望の有無



財産寄付		
	度数	パーセント (%)
大いにある	26	12.6
ややある	31	15.0
あまりない	24	11.6
ない	81	39.1
分からない	45	21.7
合計	207	100.0

図 4 1 は、町などの公的機関に土地などの財産を寄付したいという希望があるかどうかを示したものである。回答者のうち、寄付の希望が「ない」と回答した割合は 39%であり、最も大きい。寄付希望が「ない」と「あまりない」を合わせると、51%の回答者は、今後も自身の手で財産管理を続けていく。あるいは、財産を売却することを考えている可能性がある。他方で、「大いにある」と「ややある」を合わせると、27%の回答者は公的機関に財産を寄付したいという希望を持っていることが分かる。

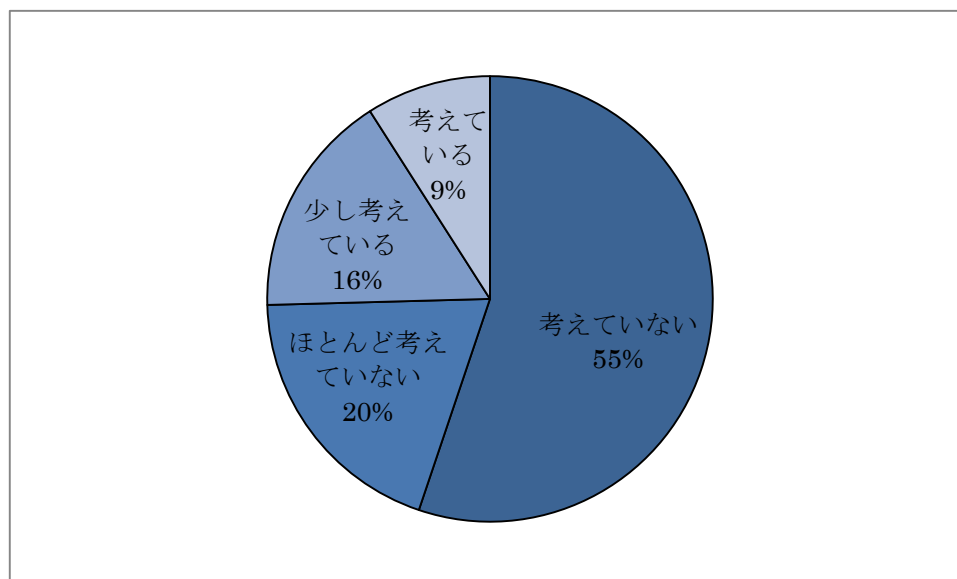
図 4 2 価値観



価値観		
	度数	パーセント (%)
売ってもいい	120	53.8
やや売ってもいい	62	27.8
やや売るべきでない	18	8.1
売るべきでない	23	10.3
合計	223	100.0

図 4 2 は、土地の所有者が財産に対して、どのような考え方をしているのかを示したグラフである。回答者のうち「売ってもいい」と回答した割合は 54%であり、最も大きい。「売ってもいい」と「やや売ってもいい」を合わせると、その割合は 82%となる。他方で、「先祖伝来のものだから、自分の代で売るべきでない」、「やや売るべきでない」と回答した割合は 18%である。ここから、町外にお住まいの方々の多くは、土地財産を売買可能な財とみなしている傾向にあることが分かる。

図 4 3 南部町への U ターン希望

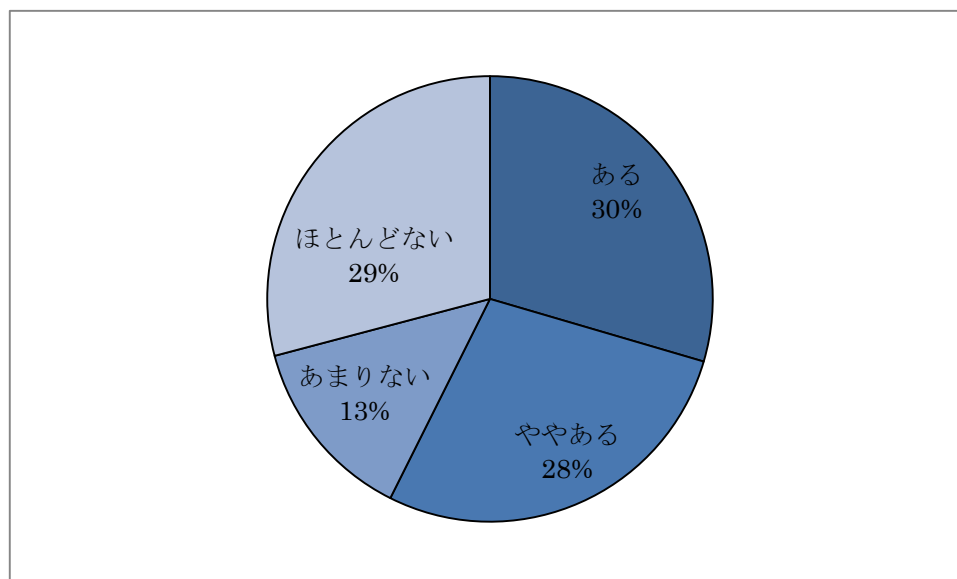


Uターン希望

	度数	パーセント (%)
考えていない	128	55.2
ほとんど考えていない	45	19.4
少し考えている	38	16.4
考えている	21	9.1
合計	232	100.0

図 4 3 は、南部町への U ターンを考えているかどうかをお伺いしたものである。最も多い回答は、U ターンを「考えていない」(55%) である。「考えていない」と「ほとんど考えていない」を合わせると、その割合は 75% となる。他方で、U ターンを「考えている」と「少し考えている」を合わせると、25% の回答者が南部町への U ターンを考えていることが分かる。

図 4 4 南部町との交流

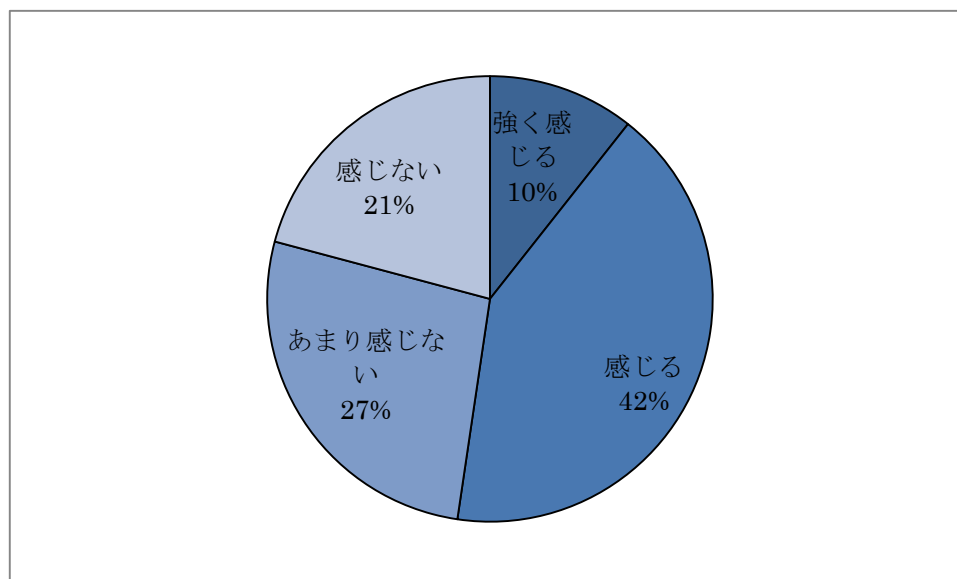


南部町との交流

	度数	パーセント (%)
ある	70	29.5
ややある	66	27.8
あまりない	32	13.5
ほとんどない	69	29.1
合計	237	100.0

図 4 4 は、南部町にお住まいの方々との交流の有無をお伺いしたものである。最も多い回答は、「交流がある」(55%) である。「交流がある」、「ややある」を合わせると、58%の回答者は南部町との交流があることになる。他方で、交流が「ほとんどない」、「あまりない」と回答した割合は 42% である。

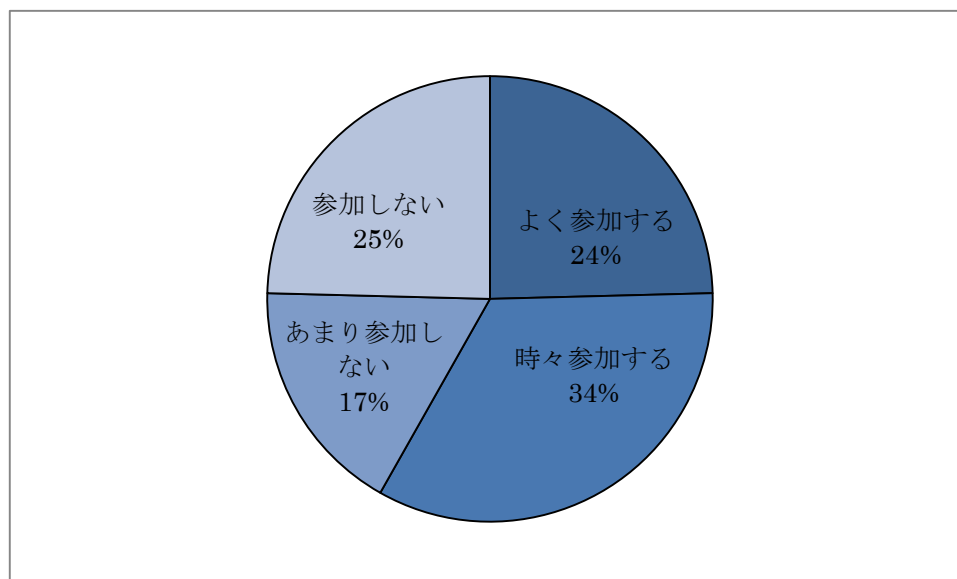
図 4 5 南部町への愛着・義務感



	度数	パーセント (%)
強く感じる	25	10.6
感じる	98	41.7
あまり感じない	63	26.8
感じない	49	20.9
合計	235	100.0

図 4 5 は、回答者に、南部町に対して愛着や義務感を感じているかどうかをお伺いしたものである。回答者のうち、愛着や義務感を「感じる」と回答した割合は 42%であり、最も大きい。「強く感じる」と「やや感じる」と合わせると、その割合は 52%となる。他方で、「感じない」、「あまり感じない」と回答した割合は 48%である。ここから、回答者の半数以上が南部町に対して、愛着、あるいは義務感を感じていることが分かる。

図 4 6 自治会行事への参加

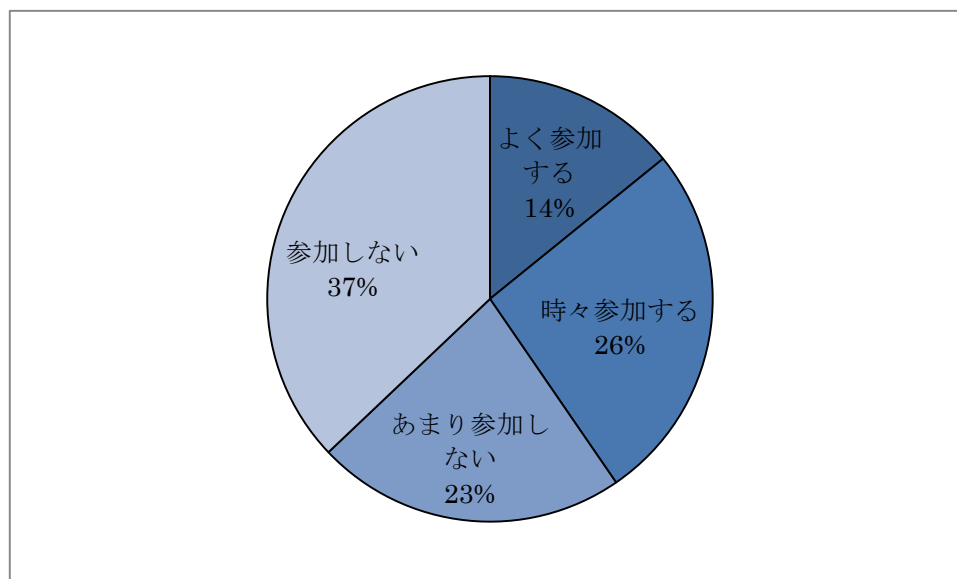


自治会行事

	度数	パーセント (%)
よく参加する	60	24.6
時々参加する	82	33.6
あまり参加しない	42	17.2
参加しない	60	24.6
合計	244	100.0

図 4 6 は、回答者の自治会活動への参加率を示したものである。最も多い回答は、自治会活動に「ときどき参加する」(34%)である。「参加する」、「ときどき参加する」を合わせると、58%の回答者が自治会活動に参加していることが分かる。他方で、「参加しない」、「あまり参加しない」と回答した割合は42%である。

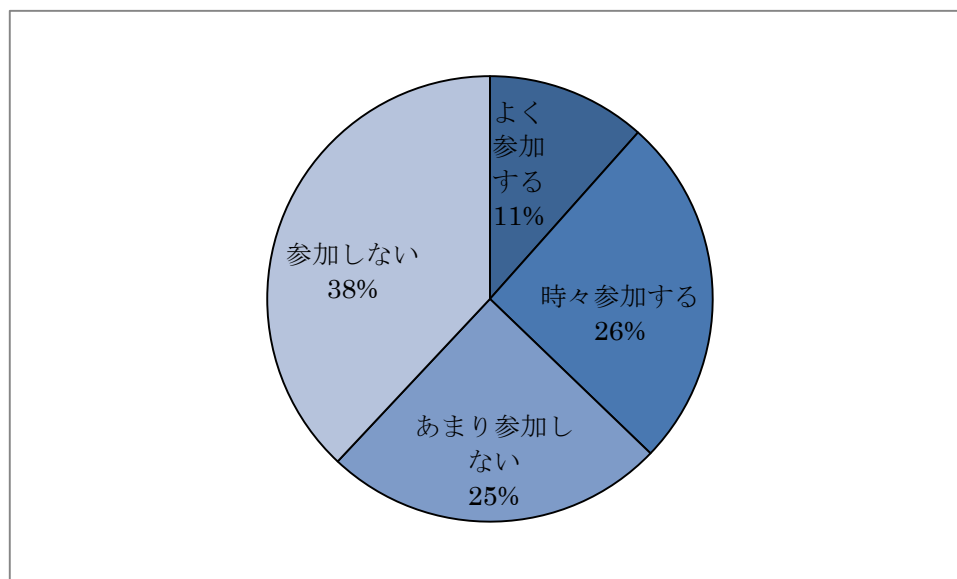
図 4 7 サークルへの参加



サークル		
	度数	パーセント (%)
よく参加する	34	14.2
時々参加する	63	26.3
あまり参加しない	54	22.5
参加しない	89	37.1
合計	240	100.0

図 4 7 は、回答者のサークル活動（スポーツ、趣味、文化など）への参加率を示したものである。最も多い回答は、サークル活動に「参加しない」（37%）である。「参加しない」と「あまり参加しない」を合わせると、その割合は 60%となる。他方で、「参加する」、「ときどき参加する」を合わせると、40%の回答者がサークル活動に参加していることが分かる。

図 4 8 ボランティア活動への参加



ボランティア		
	度数	パーセント (%)
よく参加する	28	11.6
時々参加する	62	25.6
あまり参加しない	60	24.8
参加しない	92	38.0
合計	242	100.0

図 4 8 は、回答者のボランティア活動（福祉、環境美化など）への参加率を示したものである。最も多い回答は、ボランティア活動に「参加しない」（38%）である。「参加しない」と「あまり参加しない」を合わせると、その割合は 63%となる。他方で、「参加する」と「ときどき参加する」を合わせると、37%の回答者がボランティア活動に参加していることが分かる。